

豊岡市但東町 高橋地区 地域づくり計画 2025

ふるさと
みんなの故郷 高橋のために



令和3年(2021年)3月一部改訂

高橋振興対策協議会

2025年に向けた地域づくり計画2020の改訂にあたって

高橋振興対策協議会では、平成26(2014)年に「高橋地区地域づくり計画2020」を策定し、概ね5年間の取り組みを示し、今日まで住民主体のまちづくり、地域づくり活動を進めてきました。

この間、人口減少、少子高齢化を止めるまでには至っていませんが、若者の移住や外国人の流入等も進み、グローバル社会を反映した多様な地域社会が形成されつつあります。

また、令和2(2020)年の初春に我が国を襲った新型コロナウイルス感染症の拡大等の新たな社会問題が、この地域にも影響を与えており、これらへの対応も喫緊の課題となっています。

このような状況の中にあっても元気な地域づくりの歩みを止めることなく、さらに前進させるため、次の5年を見据えた地域づくり計画の見直しに着手し、改訂作業を進めてまいりました。

これまで若手女性や若手男性との対話、本協議会役員会での意見交換、そして、住民一人ひとりを対象としたアンケート調査を実施し、その成果として「高橋地区地域づくり計画2025」をまとめました。

この困難な社会情勢の中にあって、住民の皆さまと力を合わせ、より一層魅力的な高橋地区、暮らしやすい、温かい高橋地区へと導くために、地域づくり計画でまとめた取り組みを進めていきたいと考えています。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年3月

高橋振興対策協議会
会長 小 峠 恵 介

－目次 contents－

Page

第1章 基本的な事項

1. 高橋地区地域づくり計画の策定について ----- 1
2. 高橋地区地域づくり計画の対象範囲 ----- 3

第2章 高橋地区の現状と問題点・課題

1. 高橋地区地域づくり計画 2020 の検証 ----- 5
2. 住民アンケートの結果 ----- 7
3. 高橋地区における地域づくりの問題点・課題 -----42

第3章 高橋地区の将来像

-----43

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

-----45

第5章 新たな取り組みに向けた課題への対処

-----49

第1章 基本的な事項

1. 高橋地区地域づくり計画の策定について

(1) 高橋地区地域づくり計画策定の背景と目的

平成26年に策定した「高橋地区地域づくり計画2020」は、2020年のあるべき姿“みんなの故郷高橋のために”を合言葉に、県地域再生アドバイザーの指導のもと、計画策定段階から協議会が主体となり地区内の様々な住民を交えて作成しました。また事業計画・提案を行う地区住民の貴重な経験にもなりました。このような作成プロセスと継続的なアドバイザーの関わりにより、現在の協議会は、毎年地区住民（部会員）が事業の改善を図り、協議会総会での事業提案・予算要求を行う先行的な意思決定の仕組みと取組みを行う組織へ発展しています。

一方で、現在協議会事業の企画・運営を中心に担うのは、地域づくり計画2020策定に関わった住民がほとんどです。協議会では、将来、企画・運営を中心的に担う新たな人材発掘・育成が必要と考えており、これまでの取組み評価とともに、次世代を担う住民らに関心を持ってもらえるような取組みのニーズ把握が急務と考えています。

さらに、現計画策定から住民自治運営についても変化が見られ、協議会においては、実行委員会体制から部会制へ改編しています。また集落においては、地区内の全集落が限界集落または準限界集落、半数が小規模集落という状況にあります。こうした住民自治運営の変化に対応した仕組みや取組みの検討も必要です。

このような地区の状況を踏まえ、計画とその実践の全体評価を行い、第3次の計画となる「高橋地区地域づくり計画2025」の策定作業を進めました。

(2) 高橋地区地域づくり計画策定の手順（検討スケジュール）

高橋地区地域づくり計画2025の策定にあたっては、高橋振興対策協議会顧問の支援を受けながら、合計4回のワークショップと検討会議を重ね（説明会1回追加開催）、内容をとりまとめました。

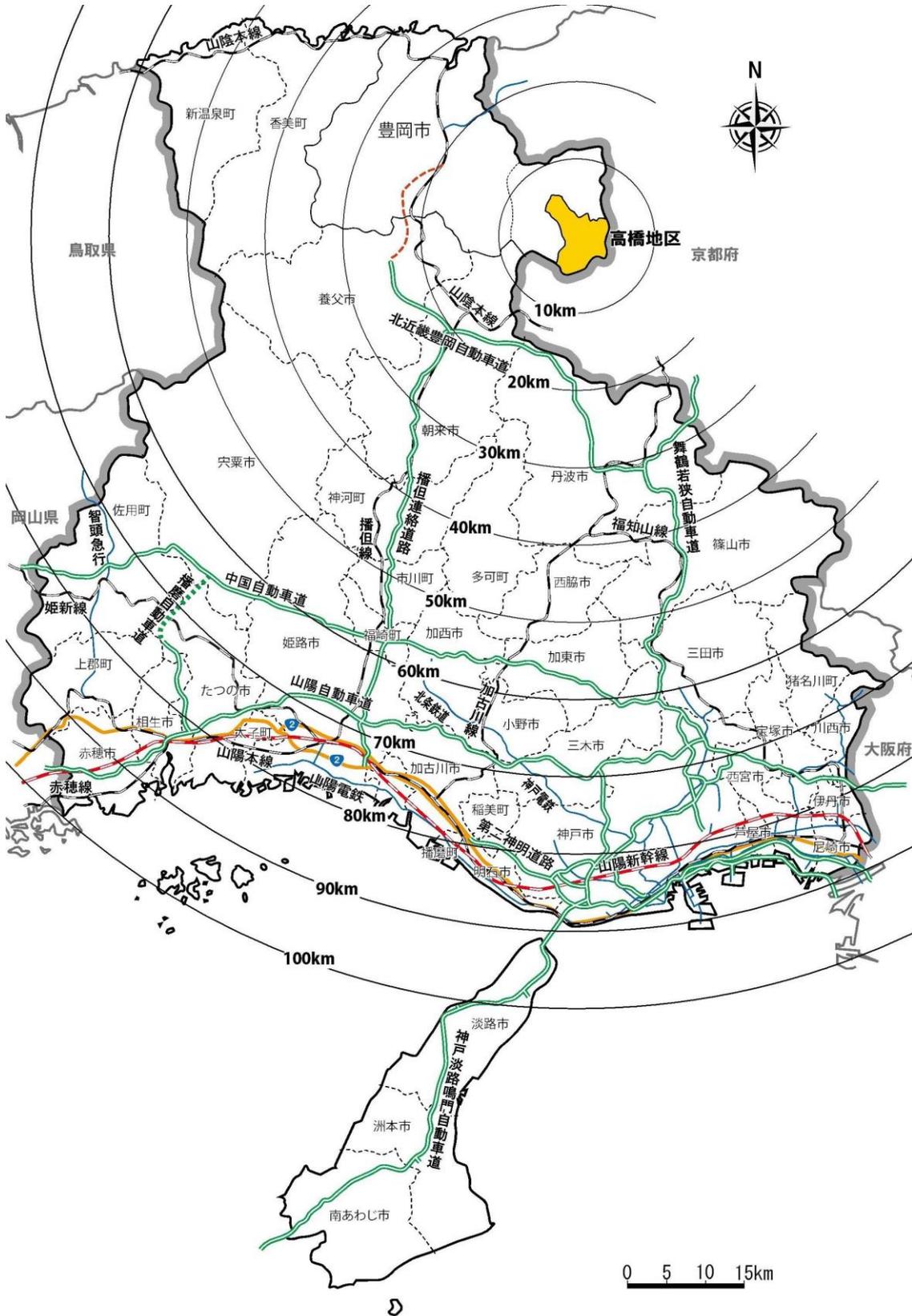
□高橋地区地域づくり計画検討ワークショップ 開催スケジュール

第1回 12/1(火) 19:00~21:00 高橋地区コミュニティセンター	地域づくり計画2025 ～次の計画、次年度以降の活動にちょっと工夫を！！～ 【地域づくり計画2020の検証】 参加者28名
第2回 2/13(土) 10:00~11:30 高橋地区コミュニティセンター	「将来に向けた地域づくり」意見交換会その1 【女性会（高橋の将来を考えるワークショップ）】 参加者12名
第3回 2/13(土) 17:30~19:00 高橋地区コミュニティセンター	「将来に向けた地域づくり」意見交換会その2 【若手男性会（高橋の将来を考えるワークショップ）】 参加者13名
第4回 2/19(金) 18:30~20:00 高橋地区コミュニティセンター	活動プログラム検討1 【具体的なまちづくり活動の企画】 参加者21名

第5回 3/5(金) 18:30~20:00 高橋地区コミュニティセンター	活動プログラム検討2 【具体的なまちづくり活動の企画】 参加者15名
第6回 3/20(土) 18:00~20:00 高橋地区コミュニティセンター	検討経過及び検討内容の総括 【次期地域づくり計画の骨子】 参加者18名

2. 高橋地区地域づくり計画の対象範囲

現在の高橋地区は、平田、栗尾、佐田、久畑、後、東中、小坂、大河内、薬王寺の高橋小学校区内9集落（前回計画からは正法寺が合橋地区に移行）を対象としています。



第2章 高橋地区の現状と問題点・課題

1. 高橋地区地域づくり計画 2020 の検証

高橋地区地域づくり計画 2025 を策定するにあたり、高橋地区地域づくり 2020 版の検証を行いました。以下、検討ワーキングにて出た意見です。

★組織体制について

- ・組織の構成について、気になるところがある。
- ・きかく部は区長がなっているので、毎年部員が変わる。
- ・近年、組織の動きが良く見えてきているが、どう伝え、理解してもらうかが重要。
- ・人づくり部は事業ごとにリーダーを作ったため、そのリーダーを中心にうまく事業を回せている。
- ・各部分がきちんと考えながら事業を実施している。
- ・地区住民の意見を取りまとめ、きかく部会にて検討活動に反映する。
- ・企画部としては、通学支援でなく、これからの地域運営についてどうしていくのか検討する課題に取り組んでほしい。
- ・ささえあい部 みなさんおとなしくて声（意見）を出さない
- ・女性の会 若手男性の会の組織づくりをする

★事業全体について

- ・現状を踏まえた上で、若者・女性の参画を増やしていく。区長会との連携が必須。

★通学支援事業について

- ・子どもの通学のためであり、費用はかかるが良いこと。
- ・バスでの通学は、子どもの人数減少やバスを降りてからの獣害（クマ・シカ）が課題。
- ・きかく部委員（区長）が主体的に参加していない→お金のバラマキ的
- ・安全安心のため継続
- ・PTA を支えるチーム作り（統合・閉校）、子ども・小学校 統合を考える会 PTA+地区

★ささえあい交流会事業について

- ・特に 2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、今まで集まって開催していた交流会を、会いに行くというスタンスとなった。コロナ禍でもできることをしていく。
- ・会いに行くスタンスも良いが、みんなで集まって会うことを楽しみにしている人も大勢いる。
- ・部員や区長会、社協以外の事業者とも連携を取って、事業の強化をおこなう。

★ささえあい研修会事業について

- ・今後、どのように独居の老人の方と関わっていくかの検討が必要。

★運動会事業について

- ・小学校と地域が一体となることができる良い事業。天候等に左右されるが、工夫を凝らしてできる形のできるようにしたい。
- ・大人だけの運動会も考えたらどうか。e-sports を取り入れたり、バーチャルの世界を楽しむ。海外の方と交流する。ニュージーランドの高齢者と競い合うなどもあり。
- ・小学校の統合による開催のあり方の検討が必要。
- ・開催時期は秋の農繁期を外したほうが良い。
- ・地区外からのオープン参加も可として、交流を図る。

★ふるさと便事業について

- ・都市部に出た大学生にお米や野菜を送った。お便りが返ってきて嬉しかった。

★Project-L 事業について

- ・ホームページの充実や動画の配信を行っている。順調に動いているが、来年度以降どのように行っていくのか見当が必要。
- ・人材育成と情報発信が重要。

★おむすびの会について

- ・若手のみなさんが参加した。これをきっかけに振対協への参画を促していきたい。

★センター活動について

- ・「めだかの学校」は講師・受講者の垣根がなく、小学生に講師になってもらったりと上手に交流が生まれている。また、新たにセンター活動に参加したという方もあり、輪が広がってうれしい。
- ・異文化交流をしてみる（モンゴル書道・ベトナム文化）
- ・女性部をつくる

★English Café について

- ・地元だけではなく、外部の様々な方に入ってもらい、英語を通じて様々な交流が生まれている。

★ふれあい市について

- ・2020年度は「ミニ版」で実施したが、続けていきたい。
- ・もっと広く県外からもたくさん来てほしい。
- ・コミュニティセンター以外の屋外やテント村でフリーマーケット的に実施していきたい。
- ・実施時期を12月から大型連休頃に変えたり、開催回数を変えたり、季節ごとにも行えるようにしたい。
- ・高橋在住の外国人の参加を促す。
- ・各地区の住民（若者が良い）地域外の参加者を募る。
- ・売上目標を掲げてきちんと収益の出る形にしたい。

2. 住民アンケートの結果

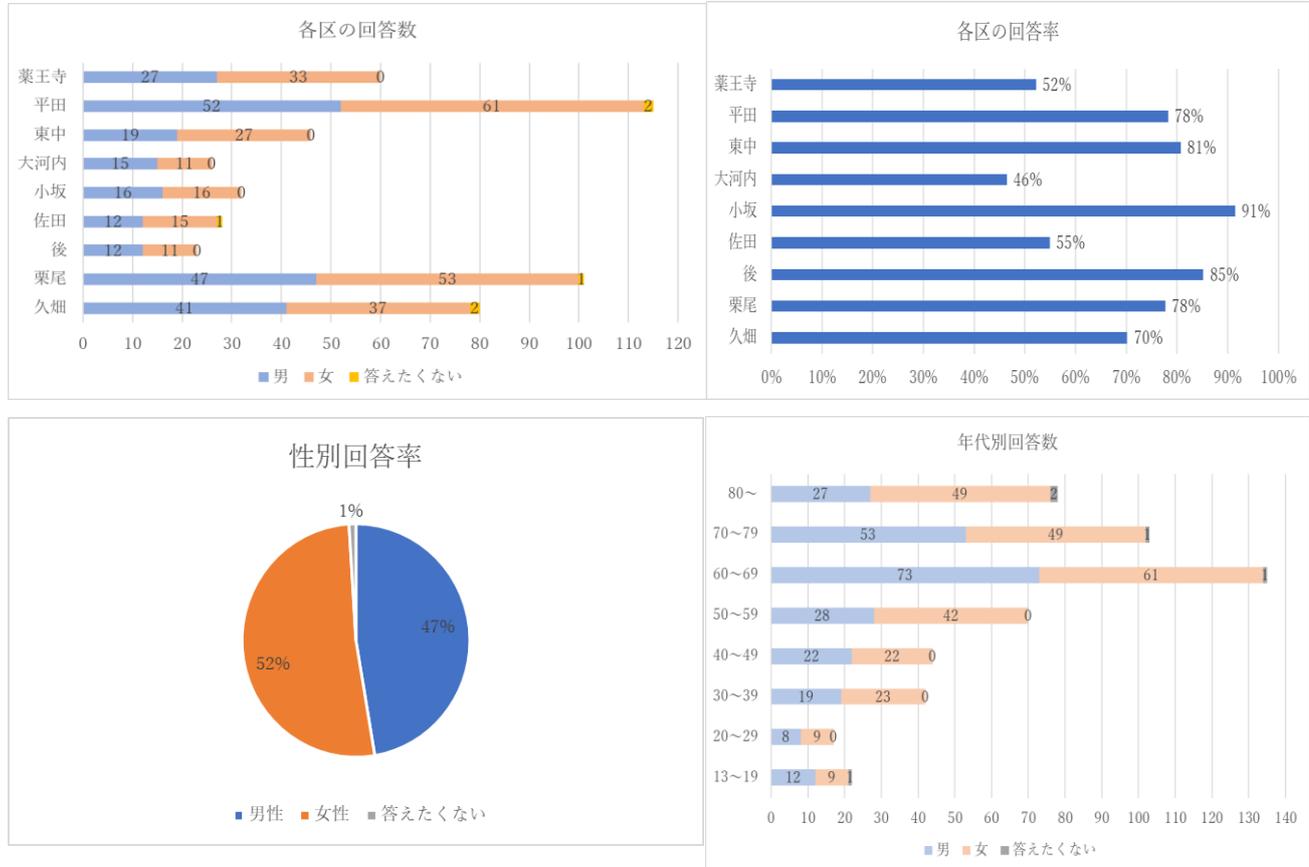
配布・回収期間：2020年12月25日～2021年1月10日

回答数：511回答（総数：732）

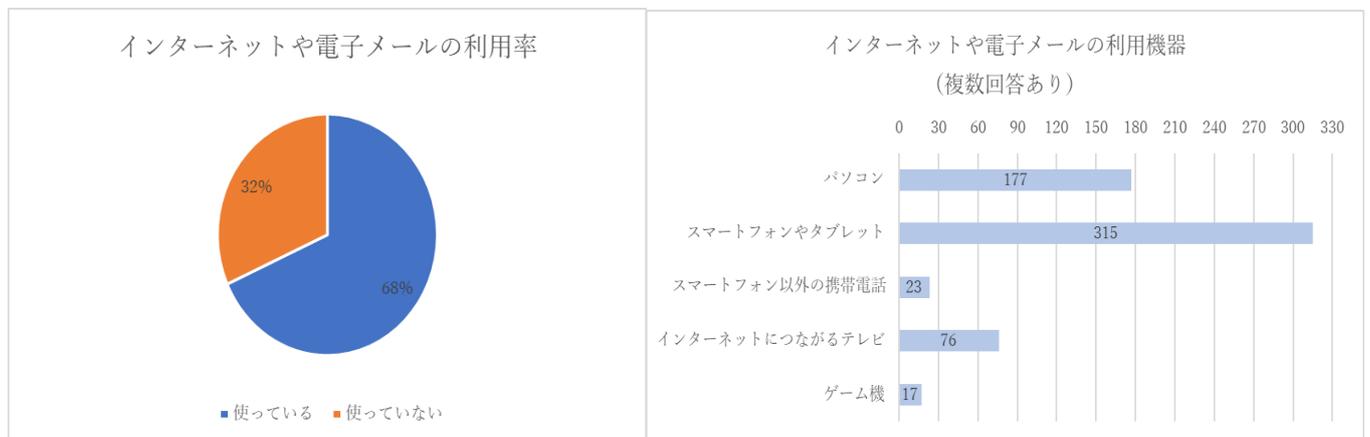
回答率：69.8%

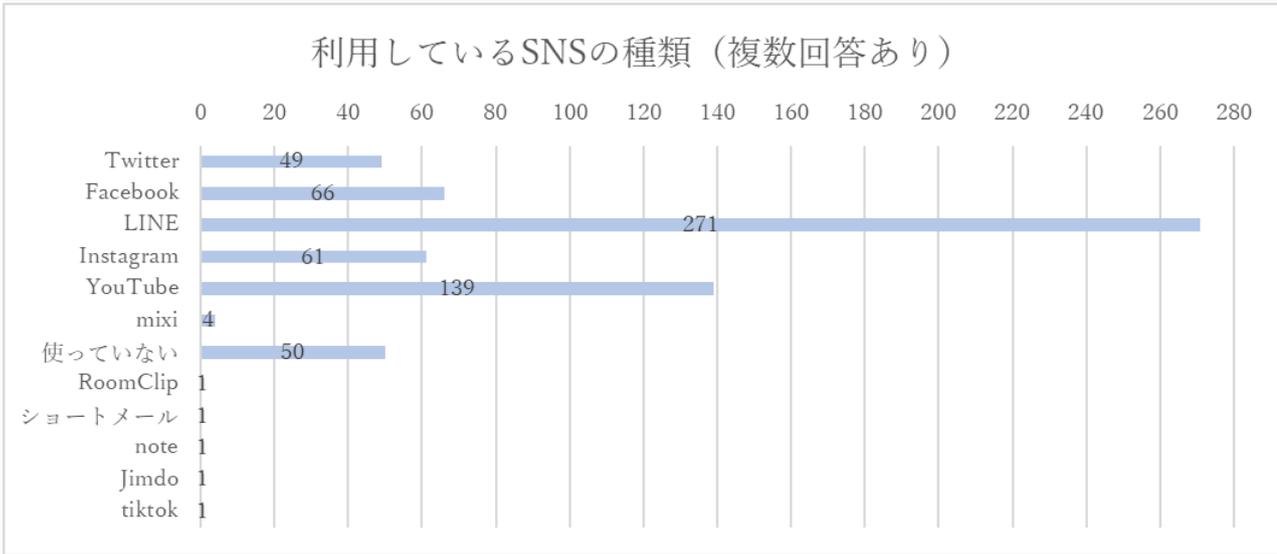
～単集計～

1. 区、性別、年代別

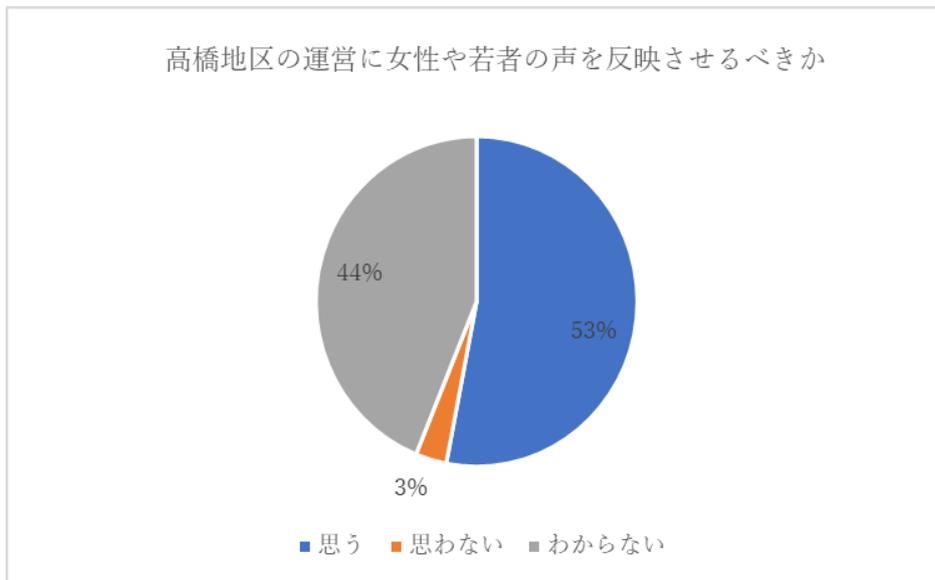


2. インターネット

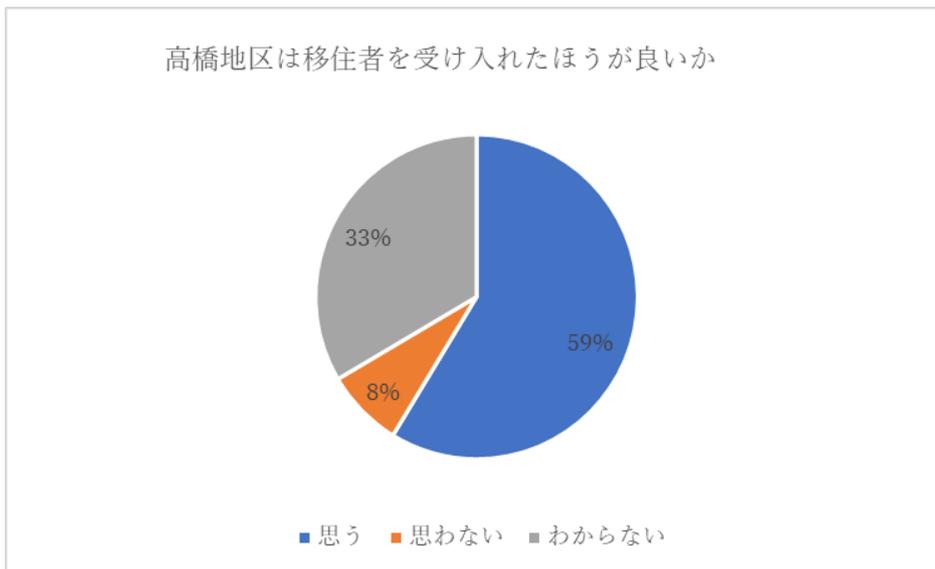




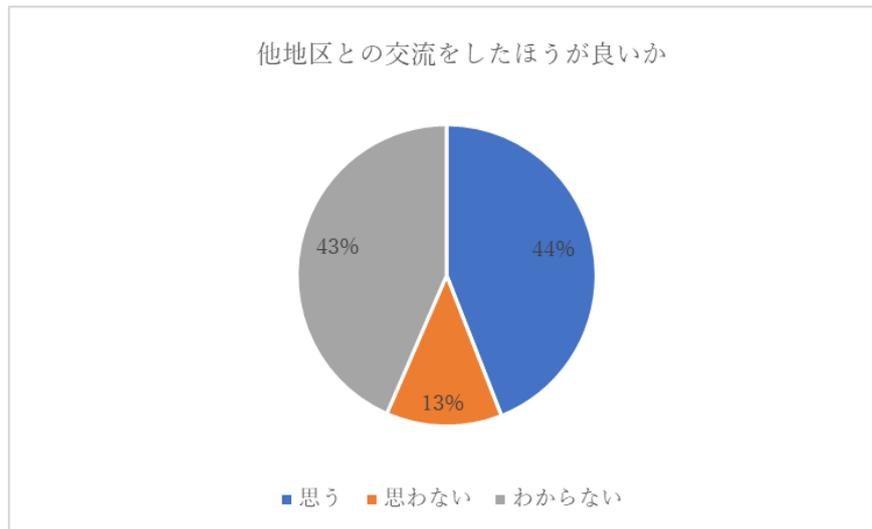
3. 高橋地区の運営に女性の声や若者の声を反映させるべきか



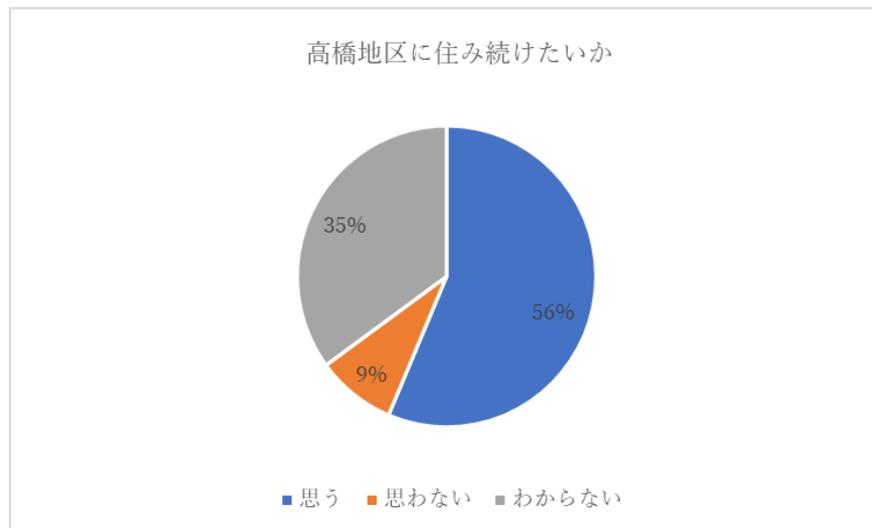
4. 移住者を受け入れたほうが良いか



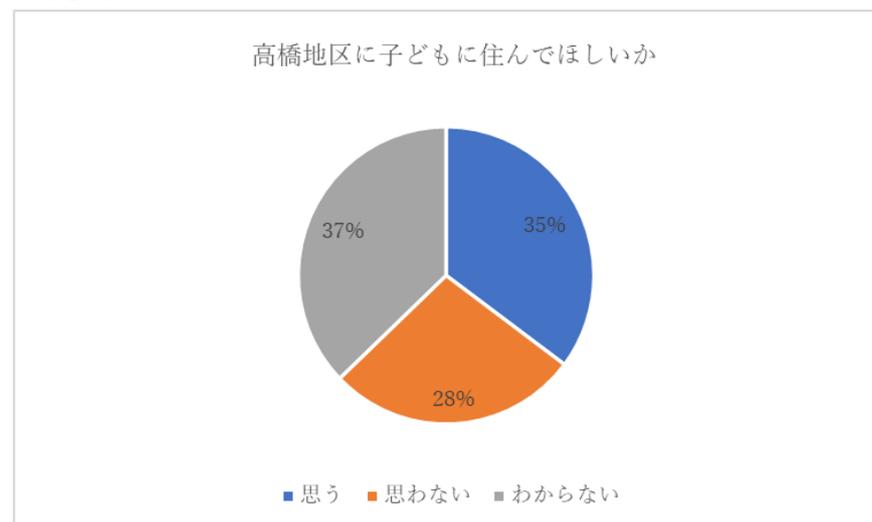
5. 他地区との交流をしたほうが良いか



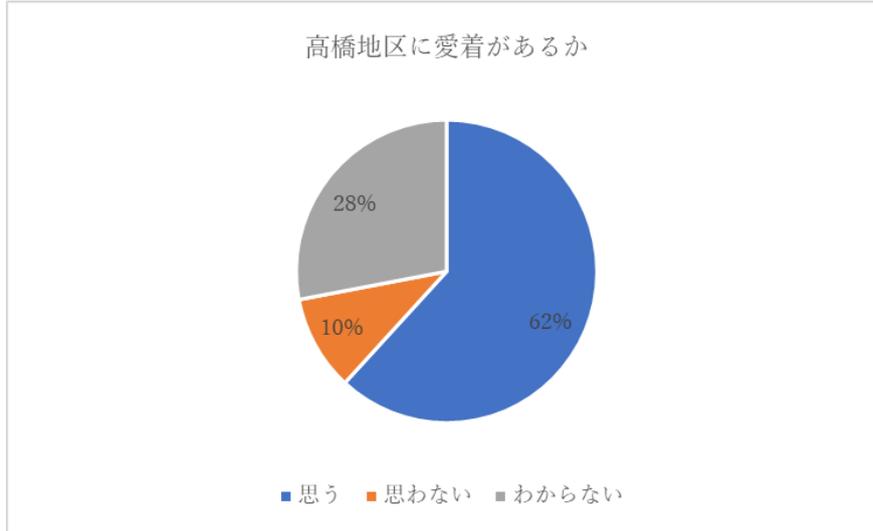
6. 高橋地区に住み続けたいか



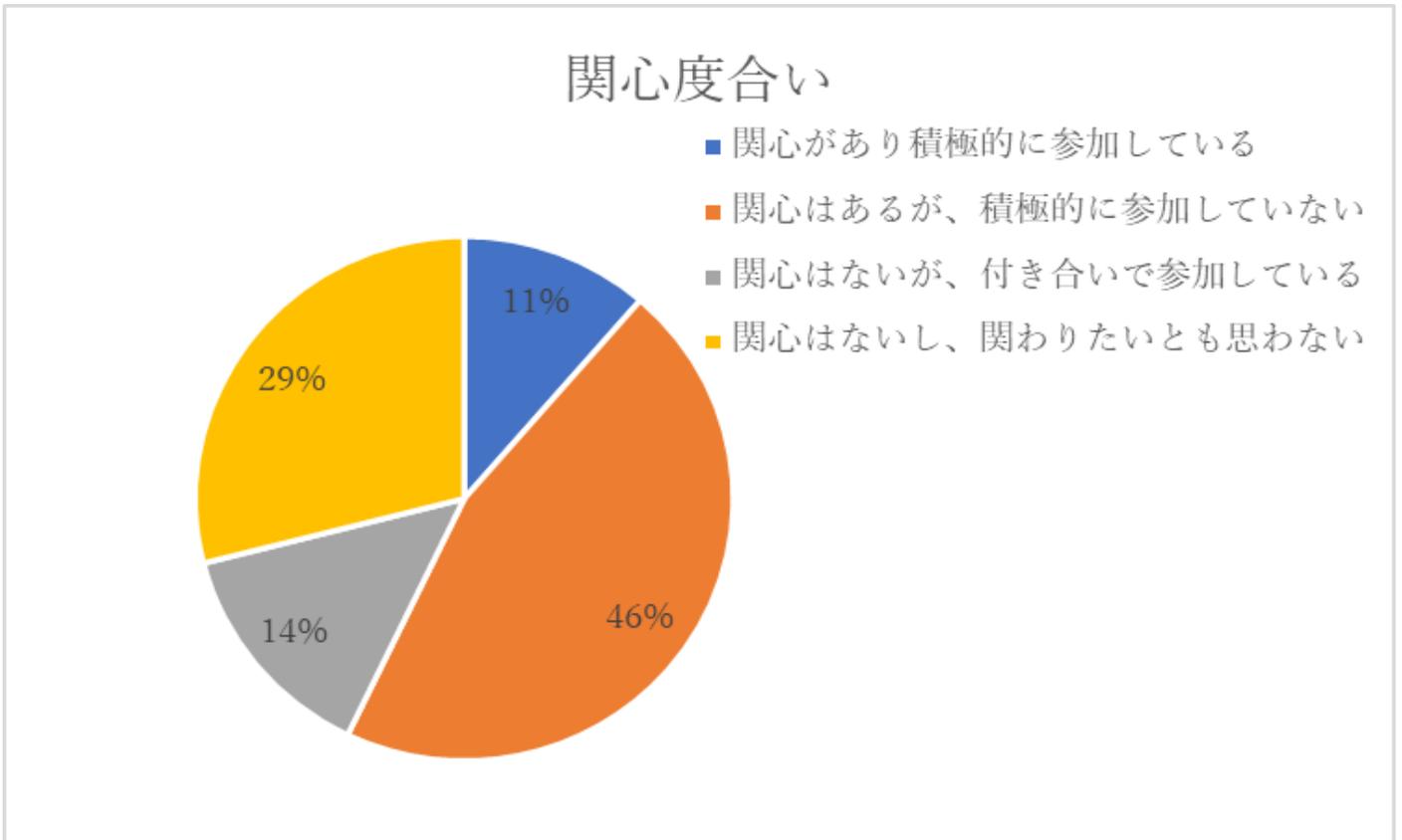
7. 子どもに住んでほしいか



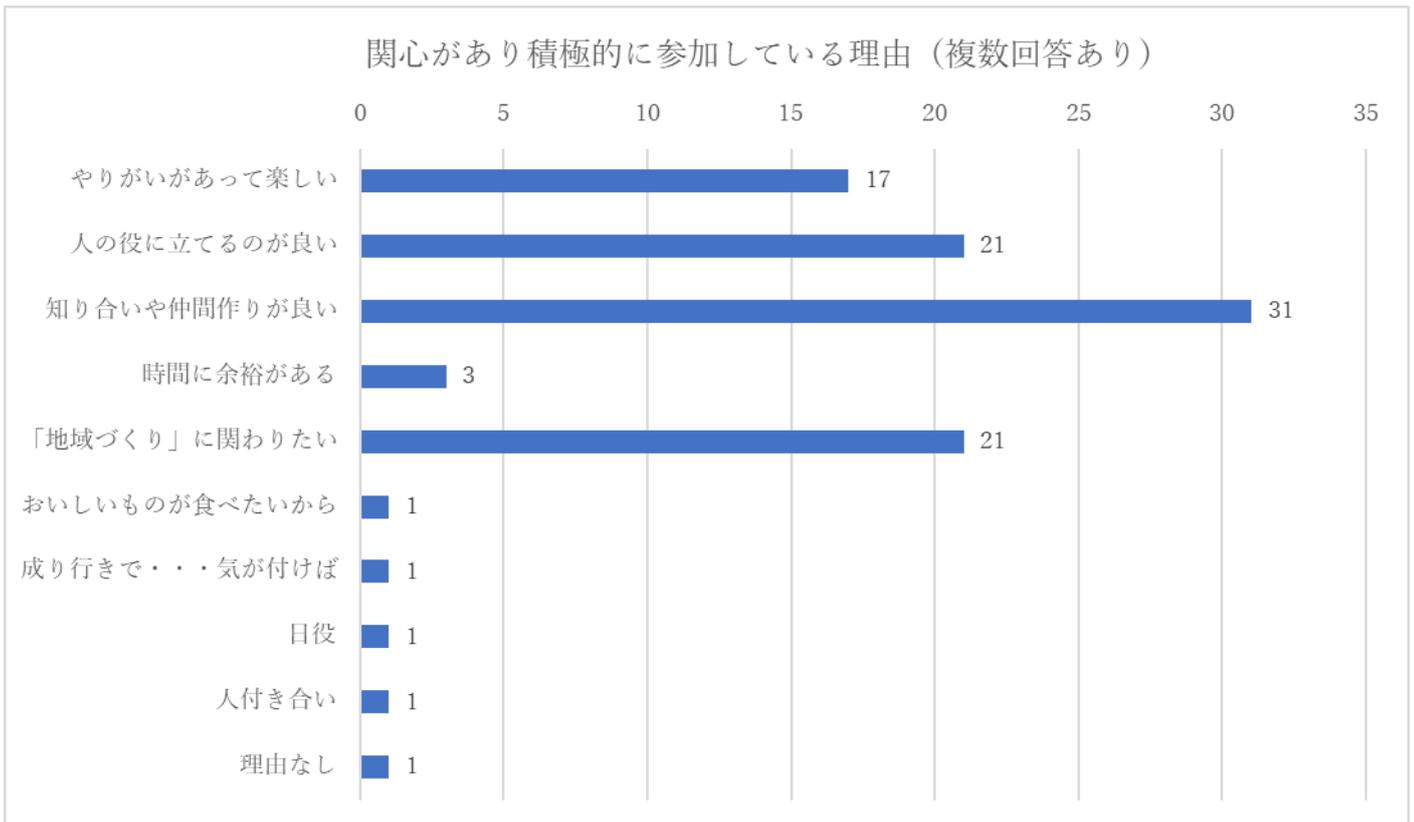
8. 高橋地区に愛着があるか



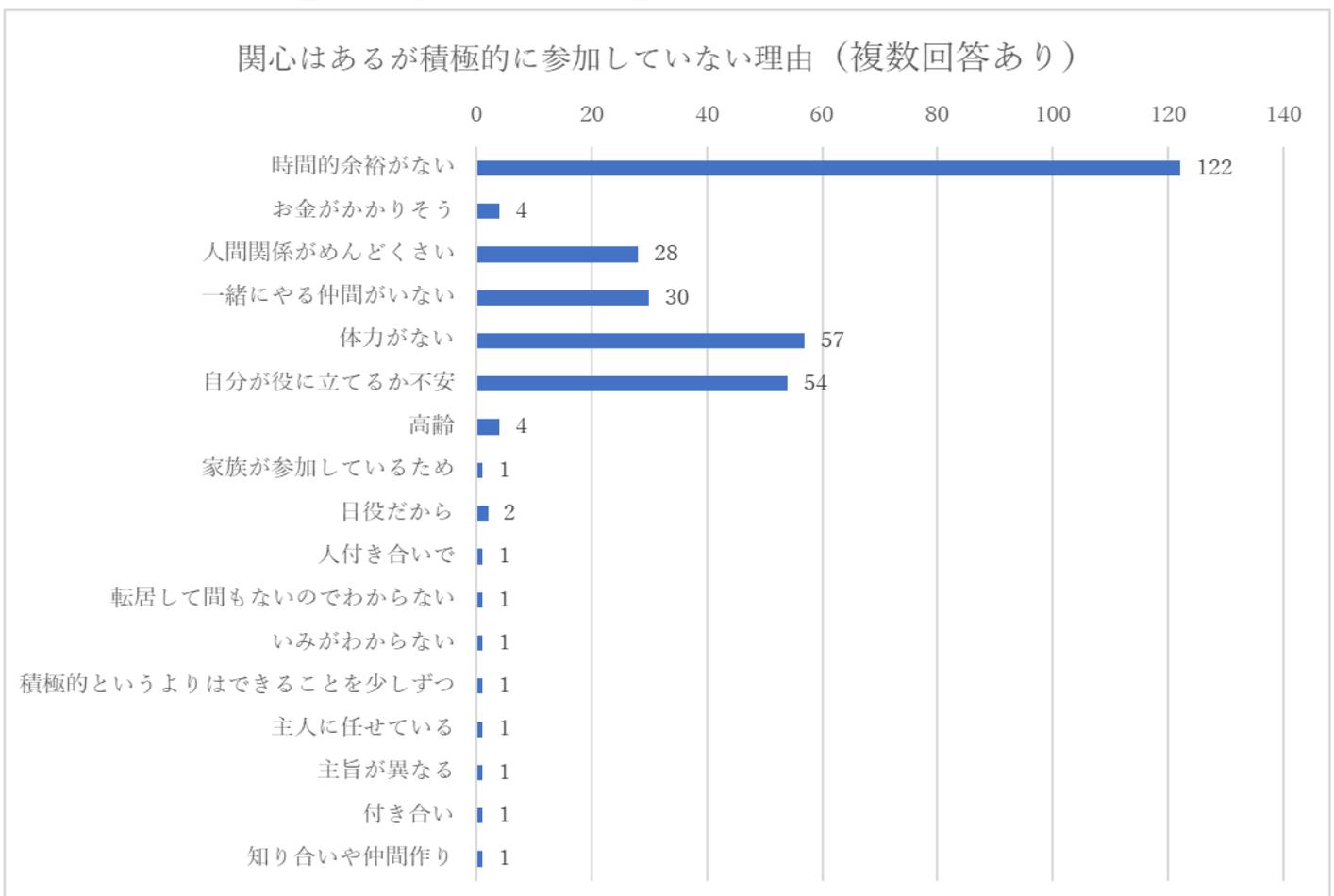
9. 高橋振興対策協議会の活動への関心度



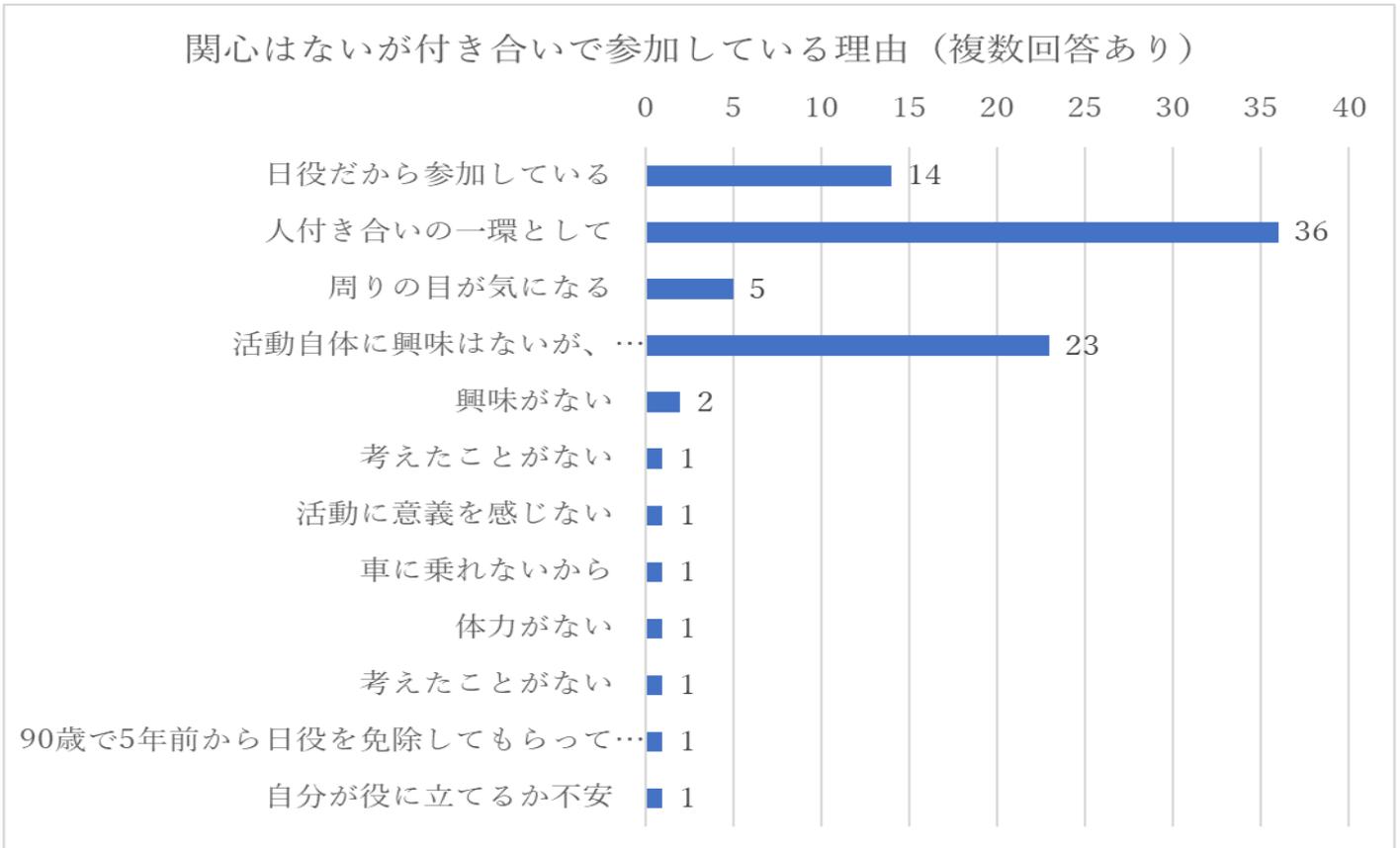
9-1.関心があり積極的に参加している理由



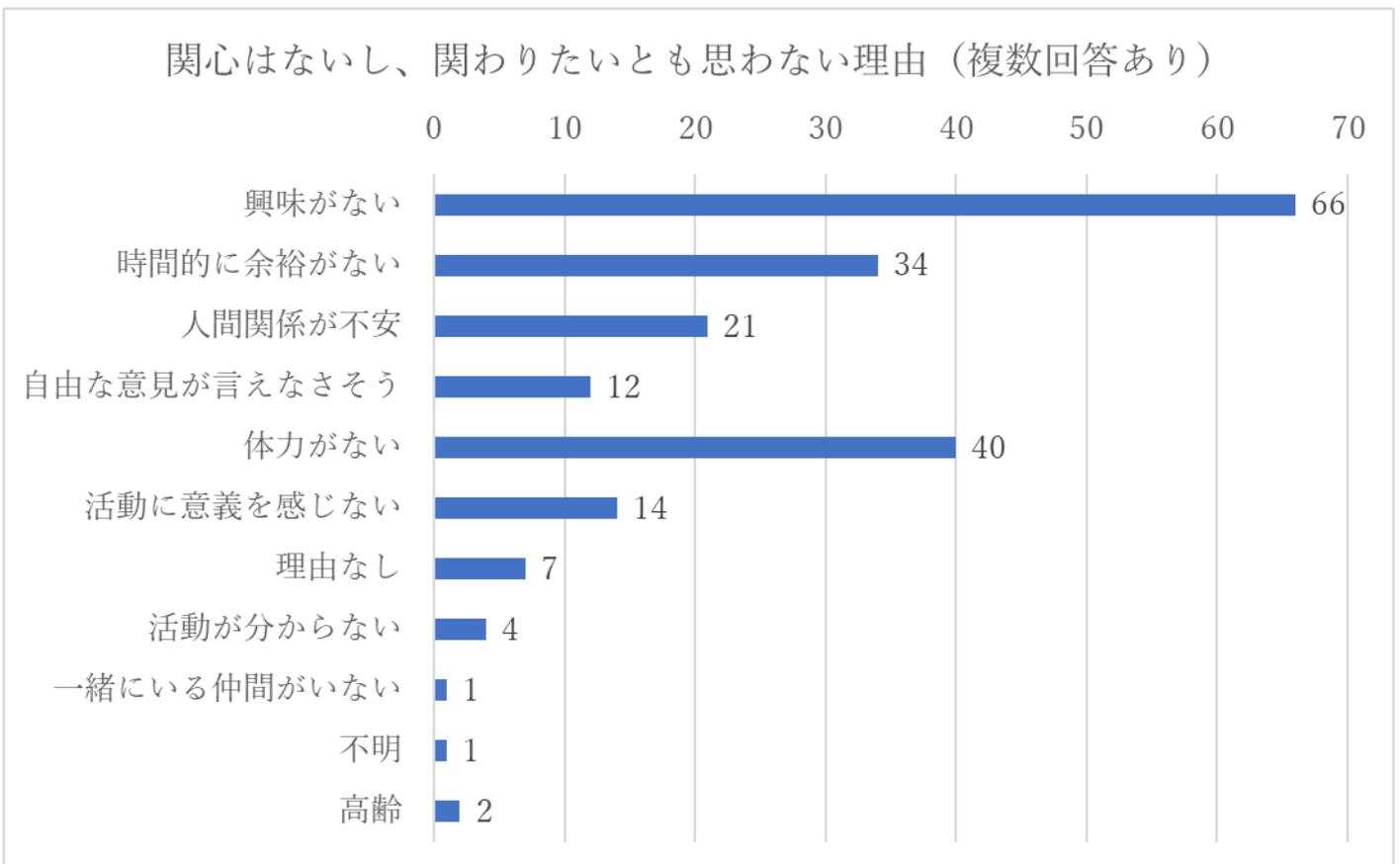
9-2.関心はあるが積極的には参加していない理由



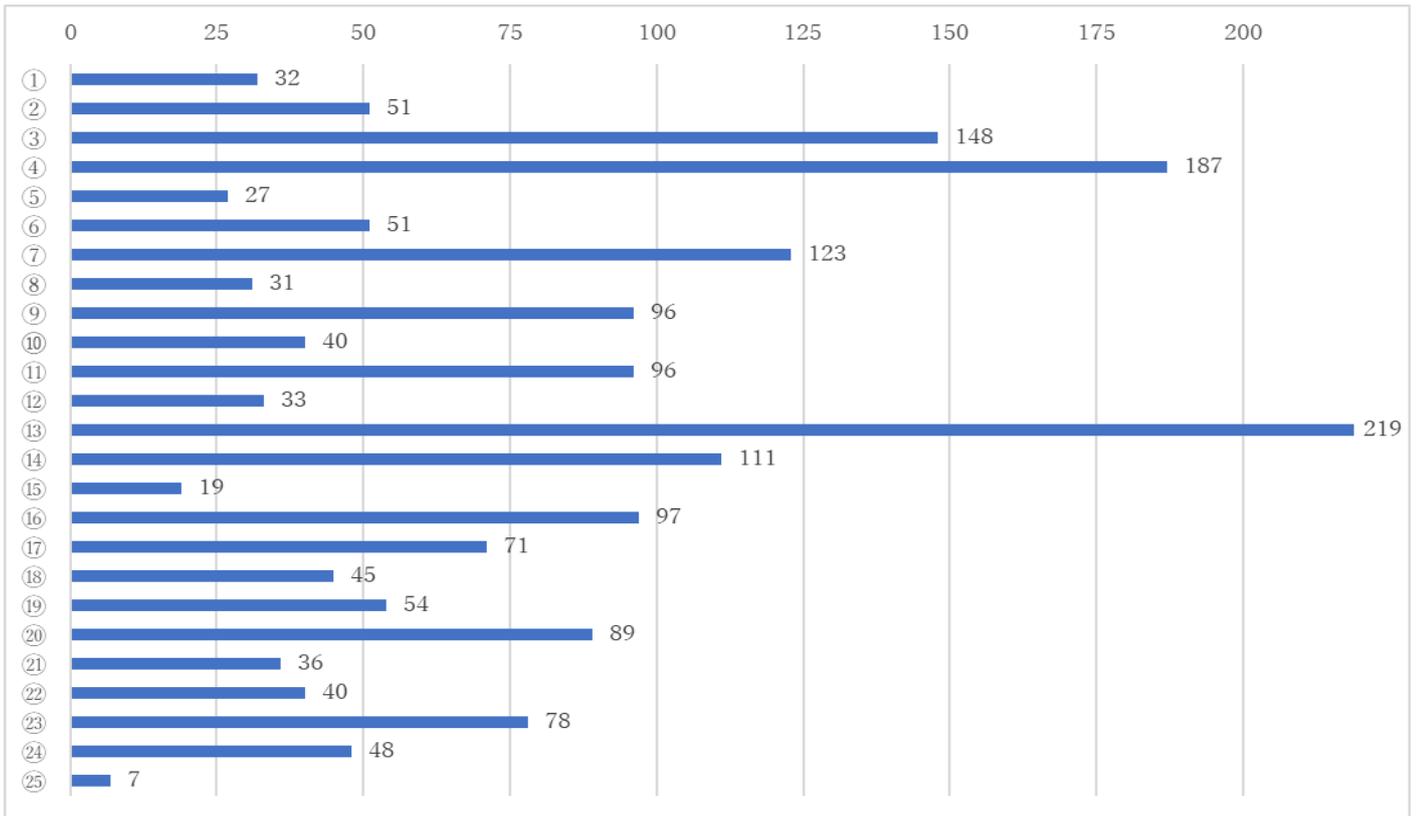
9-3.関心はないが、付き合いで参加している理由



9-4.関心はないし、関わりたいとも思わない理由

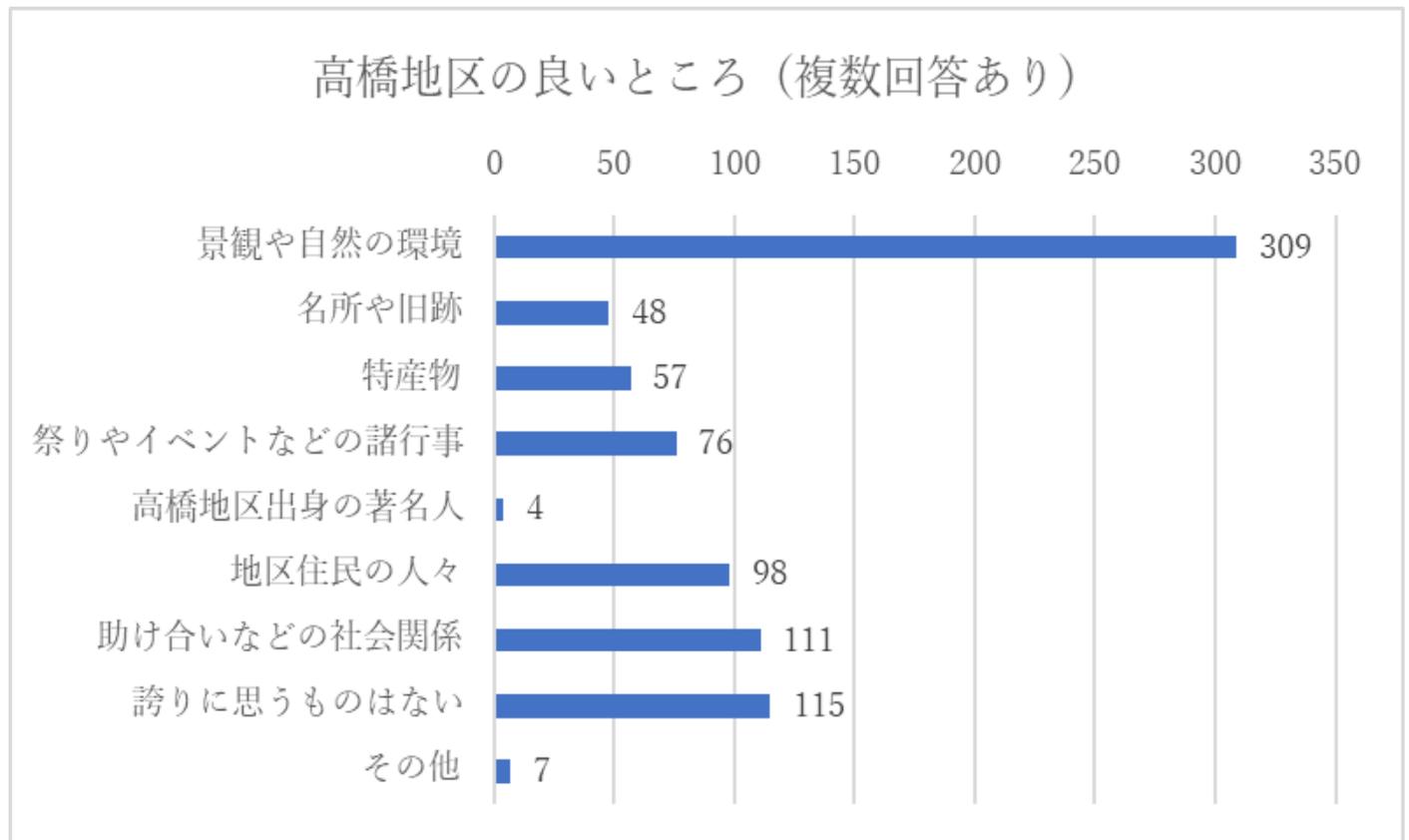


10.日常生活で不安に思うことや困っていること（複数回答あり）



- ①. 食事作り、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活のこと（32 回答）
- ②. 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業のこと（51 回答）
- ③. 屋根の雪下ろしや玄関先の除雪など雪に関すること（148 回答）
- ④. 農地・山林の維持管理のこと（187 回答）
- ⑤. 日常的な相談をする相手がないこと（27 回答）
- ⑥. 看病や世話をしてくれる人がいないこと（51 回答）
- ⑦. 健康面での不安があること（123 回答）
- ⑧. 緊急時の相談先になってくれる人がいないこと（31 回答）
- ⑨. 災害への備えや避難に関すること（96 回答）
- ⑩. 自家用車の運転に不安があること（40 回答）
- ⑪. 買い物・通院などの移動手段（交通手段）に関すること（96 回答）
- ⑫. 生活道路などの環境整備に関すること（33 回答）
- ⑬. コンビニや商店が少なく、日常の買い物が不便なこと（219 回答）
- ⑭. 身近に預貯金を引き出せる金融店舗がないこと（111 回答）
- ⑮. 福祉サービス（デイサービス・介護施設）が利用しづらい（19 回答）
- ⑯. 病院がないなど、医療体制に不便を感じる（97 回答）
- ⑰. 少子化による遊び相手の確保など子育て環境に関すること（71 回答）
- ⑱. 仲間と気軽に集まる場所がないこと（45 回答）
- ⑲. 学校が遠く、通学が不便であること（54 回答）
- ⑳. 小学校・中学校が少人数であり、学習面での競争が少ないので不安なこと（89 回答）
- ㉑. 進路・進学に関すること（36 回答）
- ㉒. 結婚に関すること（40 回答）
- ㉓. 仕事・雇用に関すること（78 回答）
- ㉔. 近所付き合い（人付き合い）に関すること（48 回答）
- ㉕. その他（7 回答）

11.高橋地区の良いところ



12.活動してみたいこと

No	性別	年齢層	高橋振興対策協議会で、一緒にやってみたい活動がありましたら自由にお書きください。
1	女性	13～19歳	交流できる場所(イベント)があったり、地域のことを知れたりするので、これからもそういうイベントがあったらいいなと思うので、特にやりたいという活動はないと思いました。
2	男性	20～29歳	振対協を知りません。回答できません。
3	女性	20～29歳	予算の使い方について疑問があります。高橋地区の住民に行き届くような活動がしてほしいです。3築のクリスマスイルミネーションとか意味が分かりません。
4	男性	30～39歳	ドバイへの売り込み。ハリウッド映画制作。自動雪かきマシンの開発。草刈ロボットの開発。
5	男性	30～39歳	全く無い。
6	女性	30～39歳	高橋小学校が使われなくなったら、その活用について子どもたちや地域の人のため、観光にもなるような施設になるように一緒に話し合いたい。
7	女性	30～39歳	料理やお菓子作り、環境活動
8	女性	30～39歳	コロナ禍で厳しいとは思いますが、子どもたち中心のイベントがあれば、子育て世代の人との交流が増えていいと思います。
9	男性	30～39歳	振対協でなくても良いが「コロナワクチンをみんなで打って元気に過ごそう!」の様なイベント
10	男性	40～49歳	コロナ禍での楽しい行事
11	女性	40～49歳	子供が少なく 子供同士の遊ぶ場所が限られる いろんなイベントを考え 子供同士が楽しく過ごせるように
12	男性	40～49歳	若者や女性の意見を聞いて・・・ 高齢者の意見が通りやすい
13	男性	40～49歳	運営する側も参加する側も気楽に関われる活動
14	男性	40～49歳	PR活動
15	女性	50～59歳	人間関係がむずかしい
16	男性	50～59歳	夜勤が多く 参加できません
17	男性	50～59歳	相撲大会(地区対抗)、駅伝大会(地区対抗)
18	男性	50～59歳	自分は活動したくないが住民として協力はする。を前提とした上で、人口増加対策を目的とした対外事業を行うべきと思います。
19	女性	50～59歳	移住者の方との交流
20	男性	60～69歳	収入につながるような活動
21	男性	60～69歳	郷土の伝統文化を学んでその価値を再発見
22	男性	60～69歳	キャンプ シングアウト 餅つき大会 キャンプファイア
23	女性	60～69歳	京阪神に近いのでそれを活用すべき 高小合併の跡地をレジャー施設(企業誘致)して人口増加発展を目指す
24	男性	60～69歳	振対協の活動が良く分かりません。
25	男性	60～69歳	老化防止に高橋コミセンで健康マージャン教室の開催。全自動マージャン卓2台買ってほしい。
26	男性	60～69歳	森林資源を有効に活用できないか。例えば、杉の木を利用して薪を作り販売をしてはどうか。木材の価値が低迷を続けている。加工することで需要促進を図る。
27	女性	60～69歳	果樹園、お盆用のお花の栽培、自然を生かした(自然物を利用した)体験
28	女性	60～69歳	高齢者ばかりで集まりもたいへんになっていくのが不安。活動参加もなかなかできないと思う。
29	男性	70～79歳	薬王寺峠に桜を植えて 美しく通ってほしい
30	男性	70～79歳	区長会を中心に活動すべき
31	男性	70～79歳	住民の周知が不足している。もっと周知活動を積極的に取り組む。
32	男性	70～79歳	ウォーキング
33	男性	70～79歳	高橋地区の活性化願っています。過疎化スパイラルに陥っています。中長期計画を立てて取り組むべき。
34	男性	70～79歳	協議会といわれても、なにをどんなことをしているのかわからない。
35	男性	70～79歳	ぎた一教室があれば参加したい。
36	女性	70～79歳	いろんな活動に参加をしてないので申し訳ないです。
37	男性	80歳以上	材木を使う産業を しか・いのしし・クマをなくす
38	女性	80歳以上	ひとり暮らしの老人ですが、皆様のお陰で感謝の日暮らしをさせていただいています
39	女性	80歳以上	行事の報告とか、出身者のコラムや近況、寄付で広報的なものが年2回発行。「ふるさと探訪」の発刊誌がみたい。
40	女性	80歳以上	コースを決めて歩こう会(距離もスピードも体力に合わせ)

13.自由記載

性別	年齢層	高橋地区でのくらしや、地域の活動事業についてお感じになっていること、今後どんな高橋地区になっていったらよいかなど、自由なご意見をお書きください。
女性	13～19歳	交流できる場所があるし、いい人ばかりなのでこのままでもいいと思いました。子供の人数を減らない対策。統合は仕方がないが、今のままを、維持していける方法を考えています。
男性	13～19歳	地域の活性化を目指すよりもまずはこの地域を住みやすい環境にすることを優先した方がいいと思う。
男性	13～19歳	もっとより良い地区にすること
女性	20～29歳	もう少し若い世代が増えてくれると良いなと思います。(移住など)一度進学等で高橋を離れた子どもたちが、また帰って来てくれるような、帰って来たいと思ってくれるような、高橋地区になっていったら良いと思います。
女性	20～29歳	民主的で、住民に見える形で活動してほしいです。役員がしたいからとか誰かに頼まれたからとかと 言った理由で活動してほしいです。住民がしたいことを聞き取り実施してほしいです。
女性	30～39歳	掃除等の集合時間が早すぎる、(朝 7 時半) 公民館の掃除も仕事を早退してまで行ったのに早くから集まっておられて、 集合時間にはほとんど終わっていた
女性	30～39歳	高橋地区に子どもたちが体を動かして遊べる大型遊具を作してほしい。遊具があるだけで、 人が集まり活性化にもつながると思うので、ぜひ。
女性	30～39歳	こういったアンケート集計をして、結果を伝えて終わり、というだけにしてほしくないです。 アクションを起こさないと、毎回同じようなアンケートや会議をしても「またか…」とってしまう。 コロナのこともあるので、できないことも多いですが、「できること」に向けていける、 そういう前向きな地域であってほしいと思っているし、そういうところだと私は思っています！ 子供たちに言葉で言う前に、そういう一生懸命な「大人の姿」を見せたいと私は思っています。
女性	30～39歳	人口の増加、大学等に進学した若者が U ターンで帰って来やすい環境、就職先がなく難しい。車が必須でお金がかかる。
女性	30～39歳	自然豊かな高橋地区での暮らしは、とても充実しており、満足しています。 ただ、子どもにとっては遊ぶ相手が少なく、刺激が少ないようにも思います。人の集まるイベントをもっと開催してほしいです。
女性	30～39歳	今後年を重ねると、病院や買い物などに気軽に行けず(車がないと、運転ができないと)それが我が親のこともですが、心配で す。 人が少なくても良いつながりはある、前向きな考えをもって進める地区だと思っています。 都市部でなくても仕事ができ(ネット、SNS 環境を使って)住みたいと思われた時 (特に若い世帯、小学校入学前などに)すぐに紹介できたり、購入して建てられる土地があったりすることも必要だと思います。
女性	30～39歳	温かいかたが多い高橋地区で安心して、過ごすことができます。
女性	30～39歳	民主的でひらかれた運営をしてほしいです。(そのようであれば若い方、女性など参加しやすくなると思います)。 偏見かもしれませんが、会長ら一部の役員の独断で物事が決められたり、閉鎖的なところがあると感じています。 「真にみんなで」(若者、女性、子供…)を目指すのが良いですし、聖域なく開かれたくかんを想像したいですね。
男性	30～39歳	楽しく暮らしております。

男性	30～39歳	車で40～60分かけて福知山の三段池公園や峰山の途中が丘公園に子どもを連れて良くいく。但東に1つこのような公園があれば人が集まりやすいし、子どもたちも外で活動しやすいと思う。出石、豊岡にもこのような施設がないので、豊岡市内からも親子で但東に来るきっかけになるかもしれない。但東内でも子ども同士、親同士が顔見知り、話す、きっかけにもなると思う。
男性	30～39歳	ふるさと探訪はとても地域の人にも若い人たちにも良いことと思う。説明する方も、説明される方も楽しいし歩くので健康増進にも良い！！
男性	30～39歳	3年前に帰ってきました。最初hが、コンビニや商店の少なさから不便になるという不安がありましたが、実際に住んでみると少し車を走らせれば「福知山にも豊岡」にも行けるので、不便さは感じていません。逆に都会で感じる様々なストレスがここでは一切なく、自然豊かなこの地で子育てができることに喜びを感じています。
女性	40～49歳	暮らしやすいいい地区だと思う。川のゴミが気になります。
女性	40～49歳	出来れば、他の地域の方が移住してきてもらい、小学校や中学校に通う子ども達が増えてくれるとお友達もたくさんできて良いと思います。 うちは、同級生に男の子がいないので、男1人で寂しいみたいです。出石違ってコンビニもないですし、大きな病院にも少し遠いので、もっと高橋地区に住んでみたいと思ってもらえるような地域になると良いなと思います。
女性	40～49歳	公民館のイベントなどはとても楽しく参加させていただいています。 今後人口が減少する中で、より住民同士のつながりを強くできることはないかと考えます。 一部の人に参加するイベントだけでなく、全員までとはいいませんがたくさんの方が参加できるイベントをして、高橋地区の多くの方が顔見知りになれるようなことができれば良いなと思います。
男性	40～49歳	無関心な人をどうむけさせるか 楽しい事を大切にし飴と鞭を使い分け 同じ人ばかりでなく誰もが1役を分散できれば良い
男性	40～49歳	まずは住んでいる方々が、喜びや生きがいを感じる地域になれば
男性	40～49歳	豊岡演劇のまちに乘っかり 演劇で活性化
男性	40～49歳	いつも意見を言う人が同じで、高橋地区内でも温度差があり、なかなか前に進みにくいと思う時があります。 何もしなければ今と同じか悪くなるので、小さい一歩大きい一歩でもいいので、まず多くの方が動くことが大事だと思います。 高橋の人は優しいですが、消極的な面があるので、自分自身も含め何かアクションを起こさなければと思います。
男性	40～49歳	働く会社等があり、活気のある地区になってほしい。小学校も統合となれば、企業誘致してほしい。
男性	40～49歳	前回の地域づくり計画に多くの将来像実現に向けて、必要な取り組みが一覧掲載されている。 良いアイデアもあるので、意見を聴くだけでなく、考えて実行してほしい。
女性	50～59歳	小学校の統合。母校がなくなるのは、寂しいですが、生徒数が少なすぎて、子どものために良くなり。
女性	50～59歳	一部の方には尽力いただいているが、同じ型の負担になっている。 関わりたい人はいると思うので他の世代の人が取り込めるしくみがつくれたら…
男性	50～59歳	振対協の存続意義が解らない。必要なのか。
男性	50～59歳	若年や中年層の人たちがUターンやIターンしてくれるような仕組みや政策、働く場の確保、提供、空き家情報や高橋の魅力の情報発信(紙媒体やインターネットなどあらゆる手段で)など

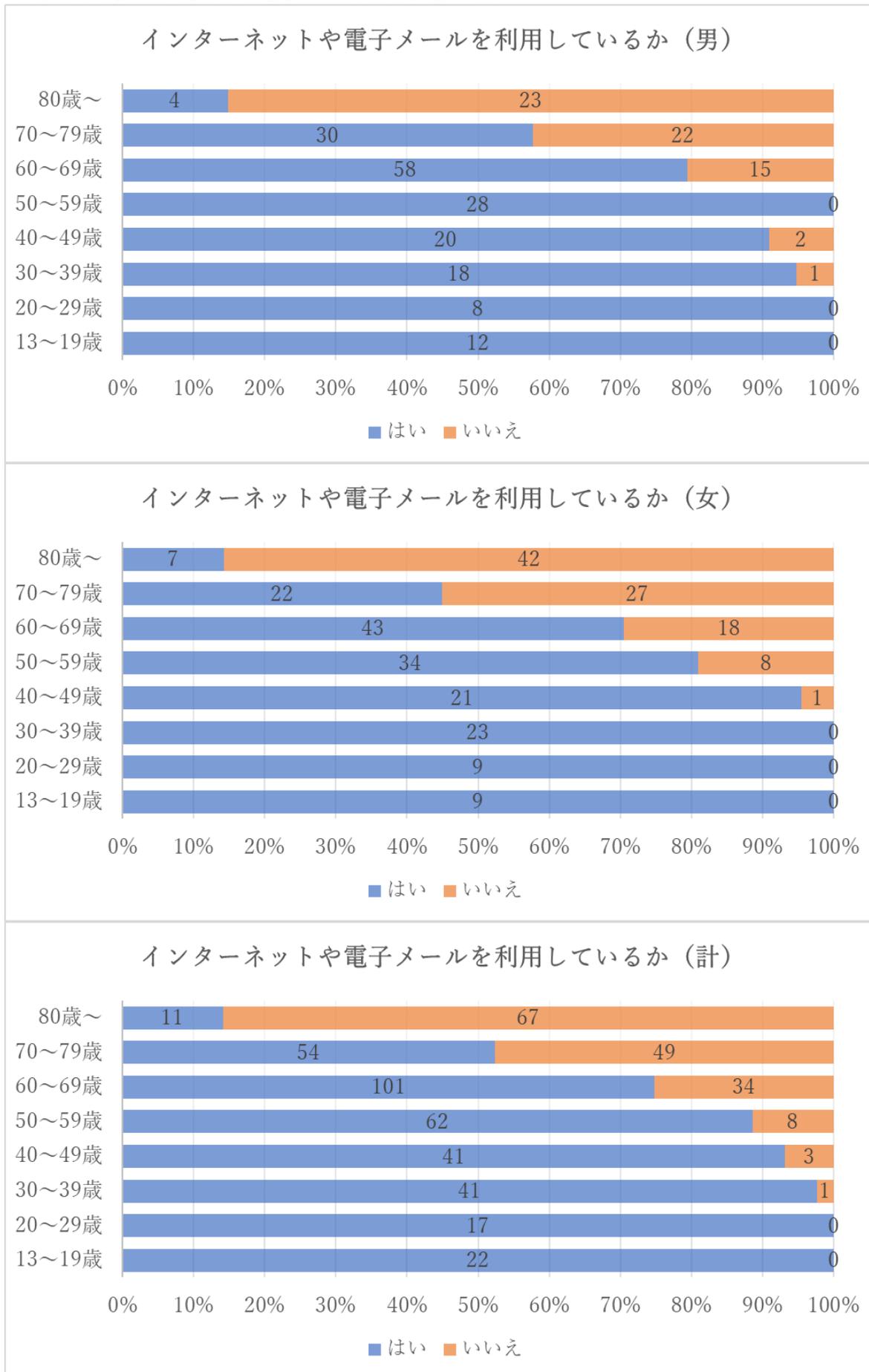
高橋地区地域づくり計画 2025

男性	50～59歳	対内的事業が多くて、自己満足しているが、今の現状ではないでしょうか？地域の住民を増やさない、遅かれ早かれ限界が来ると思われるので、住民が増加するよう、外へ向けてアクションする必要があると思います。うちわでする事業ばかりです。
男性	50～59歳	区単独では改善できない事もコミュニティだと可能になる。 自分達のふるさと「高橋」の輝ける未来は自分達で作りあげていく！そんな一体感のある高橋コミュニティになってほしい。
女性	60～69歳	子供の人数が少ないことが一番のネックになっていると思います!!
女性	60～69歳	区の半数が65歳以上で10年、20年後は80歳を越える 農業問題以前に地区運営ができない市はどこまで世話をしてくれるのか
女性	60～69歳	若者が働ける雇用環境整備が必要
女性	60～69歳	今はまだ仕事中心の生活ですので、地域の活動について考えたことはありません。 ですから、協議会で何をされているのか知りません。 ただ、この高橋地区のことを嫌だな…と思ったことはないですし、住みやすいと思います。
女性	60～69歳	地区での行事に参加できなくなったら…今までの内容だったら、無理になりそう。
女性	60～69歳	ひとり居りや高齢者世帯のサポートには力を入られていると思いますが、 そういう世帯がますます増えていくのでさらなるサービスサポートをお願いします。
女性	60～69歳	子どもが減り、老人が占めていく村になっていくのがさみしい。
女性	60～69歳	小坂地区のように皆で支え合い、どの家庭も元気に助け合う地域になればいいなと思う。
女性	60～69歳	統合されると地域は寂れることは予測できたこと。今後有効な手立てを考える。 もっと気軽に人の考えや意見に耳を傾け、先を見通せる柔軟な人材の発掘を望む。
男性	60～69歳	・自分がかもって高齢になって、通院や買い物がかしくなった時にこの地区で暮らせるかなと思う。 ・昔ながらの形式的なたくさんのか行事におわれて、その行事をこなすことが楽しみというより苦痛になりつつある。 行事を簡素化してほしい。 ・健康寿命をのばして、ゆったりと暮らしていける地区になってほしい。
男性	60～69歳	①地区存続の為に現状に合わせて「ゆるやかなつながり」を求めていくことが望ましい ②交流人口を増やす事、そのためにを行っている活動について情報交換の場を増やすべき
男性	60～69歳	移住者の定着 促進 増加 ガンバル人を避難中傷ことのない高橋に
男性	60～69歳	地区に人を呼ぶ。財産区の役員も交代され違った方針が期待される。地域づくり部と移住人口の増加を目指す。 地域のために一生懸命になっているひとをあざ笑う高橋であってはいけない。
男性	60～69歳	古民家再生と空き家対策
男性	60～69歳	高橋地区全体の営農生産組合を設立を望む。高齢化により休耕田が多くなってきている。今後もさらに増加する。今のうちに対策を！。
男性	60～69歳	笑顔で仲良く暮らしていける地域を望んでいます。批判・悪口を言わない人間関係。いつもニコニコ・ピンピン・コロリ。
男性	60～69歳	高齢化は止められない。高齢者にとって楽しく暮らしやすい地域社会になると良いのではないか。それが、地域の魅力になる。
男性	60～69歳	近所づきあいを大切に、助け合いの精神をもって日常生活を送ること

男性	60～69歳	のんびりと静かな地区でいい
女性	70～79歳	・これまで通りで良いと思います。 ・若い人が一人でも多くなればと良いと思います。 ・もっと木を切って晴れやかに遠くを高い所から見渡せる様な所があれば良い。
女性	70～79歳	高齢化はさげられないから、地域が密になって皆で楽しめる取り組みを その人材も必要 みんなで協力して住んでよかったと思う地域に
女性	70～79歳	高橋地区で行われる活動事業において興味がない人も、まずは参加して他の人々と交流する気持ちで積極的に家から出る。 そんな人が多くなれば活気ある高橋に近づけると思う。体験して、建設的な意見がたくさん出る高橋になればと思います。
女性	70～79歳	高齢化になり、活気がない。昔のやり方をそのままやるのではなく、新しいやり方に変えていくべき。 (若い人の意見も聞き入れる)部落行事が多すぎる。
男性	70～79歳	住民どうしの絆が希薄さを感じる→参画意欲の欠落
男性	70～79歳	高橋地区に働き場を 若者が残り 都市から移住者増えて活気がでる
男性	70～79歳	耕作放棄地に山菜を栽培、収穫等募集、彼岸花を植える。山の駅。役員の方々ご苦労様です。
男性	70～79歳	以前は他人への思いやり、助け合いなどの田舎の良さ、生活しやすさがみられない。 時の流れか意識の変化か…田舎に住む魅力がなくなっていくことが残念。
男性	70～79歳	空き家が多い。人口の流出に歯止めをかけるようにする対策を考えること。議員が見回りにこない。
男性	70～79歳	自分の地域は自分たちで守る。これがなかなか大変。
男性	70～79歳	老人、子供がもっと住みやすいようにする中で、戸数の増加につながっていくと思われる。
男性	70～79歳	小学校の統合が問題になっている」ようですが現在生徒数は28名とか、 年々減少する流れに歯止めはもはや難しく統合もしかたがないと思います。 しかし、逆に過疎化が進み、人口減少に拍車がかかるにではないかと心配しています。
女性	80歳以上	昔のような近所付き合い、心づかいがない 近所でも顔を合わせる事がなくさみしい 定年後でも帰って来て土地を管理してもらえないものか 地域住民と一緒に活動する事が良いと感じる
女性	80歳以上	区に4人友達があり、参加できるところへは参加している。他の区の方の参加が少ないように思う。 ゆうゆうクラブやいちょう学級が楽しみです。
女性	80歳以上	空き家が増えないように。1軒空き家が増えても寂しい気持ちになる。 学校や病院がなくなれば、一層限界地域の感が強くなるので、移住者を呼び込む努力も必要と思う。 子供さんのいるひと→小・中学校体験入学。*いつまでも自立でいられるよう努力したい。
男性	80歳以上	高橋地区は自然環境も人情もよく暮らしやすい所ですが、働く場所が少ない。 豊岡、福知山の企業の進出も少ないが、住むだけなら不足ない。 後継者が但東地区外で出ているのが、問題。解決方法は仕事場の確保。生活道路、環境整備は徐々に整備されている。 コロナの関係で田舎暮らし等の関心が高まっているので、その環境づくりが大切。
男性	80歳以上	若い人が働ける場所があってほしい。持○物があると良いが、あまり手のかからない物が

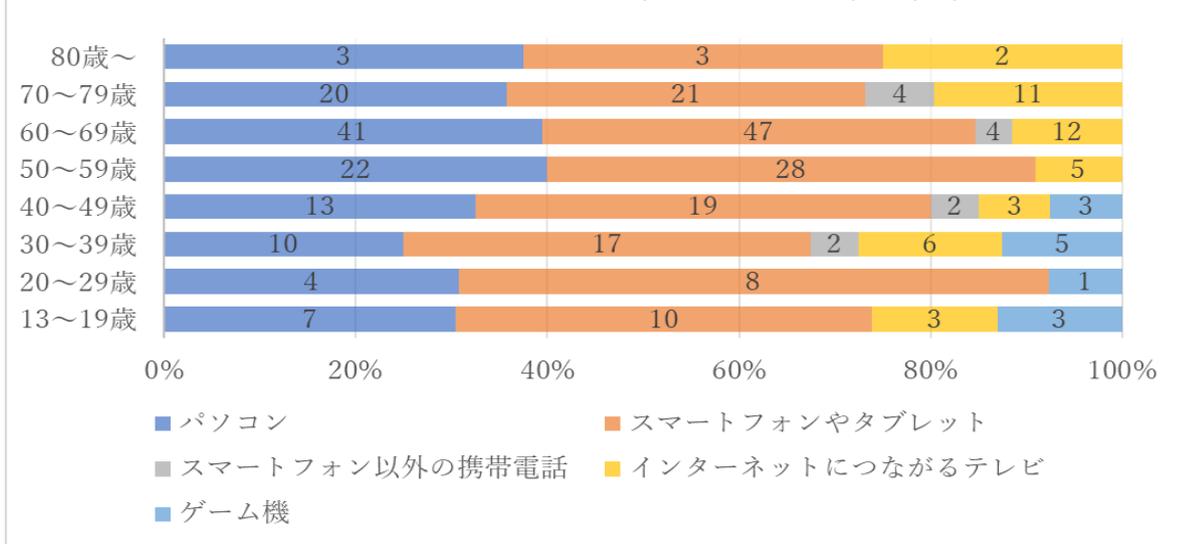
～クロス集計～

14. インターネット、電子メールの利用数/率

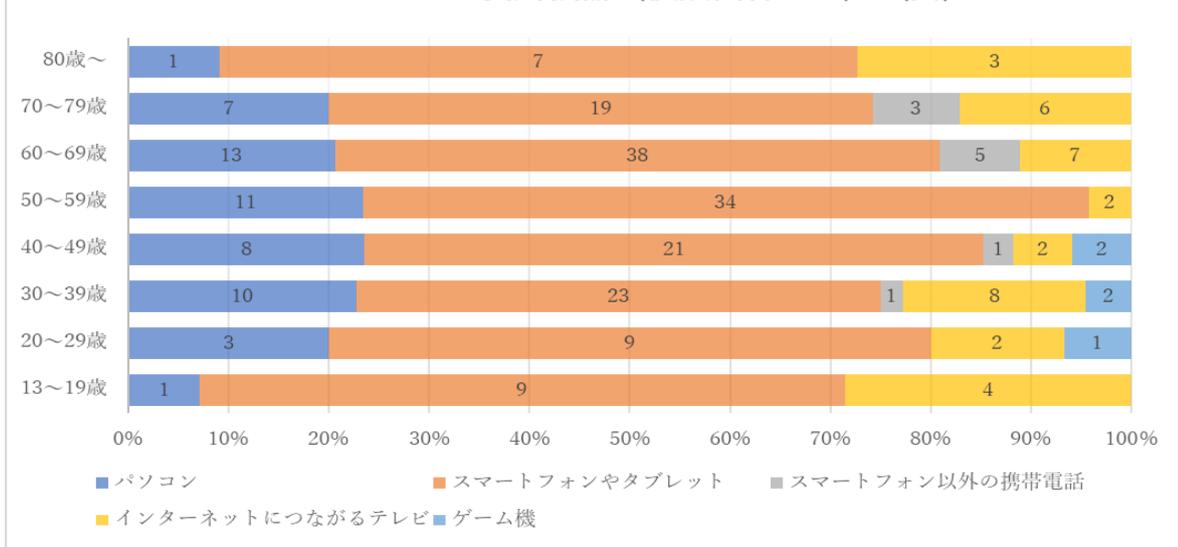


15. インターネットの使用機器

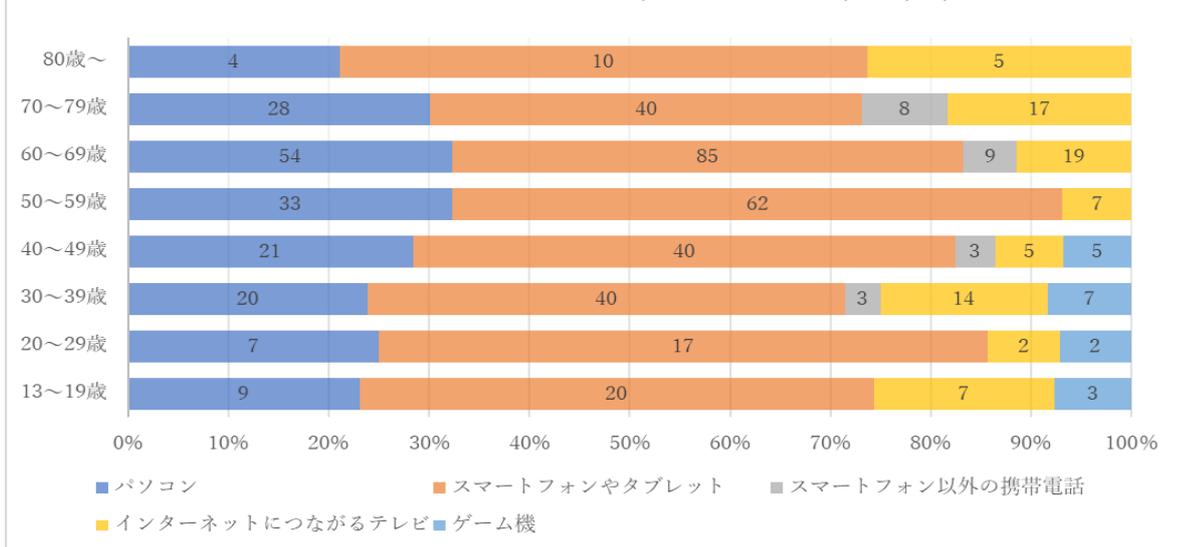
インターネットの使用機器（複数回答あり）（男）



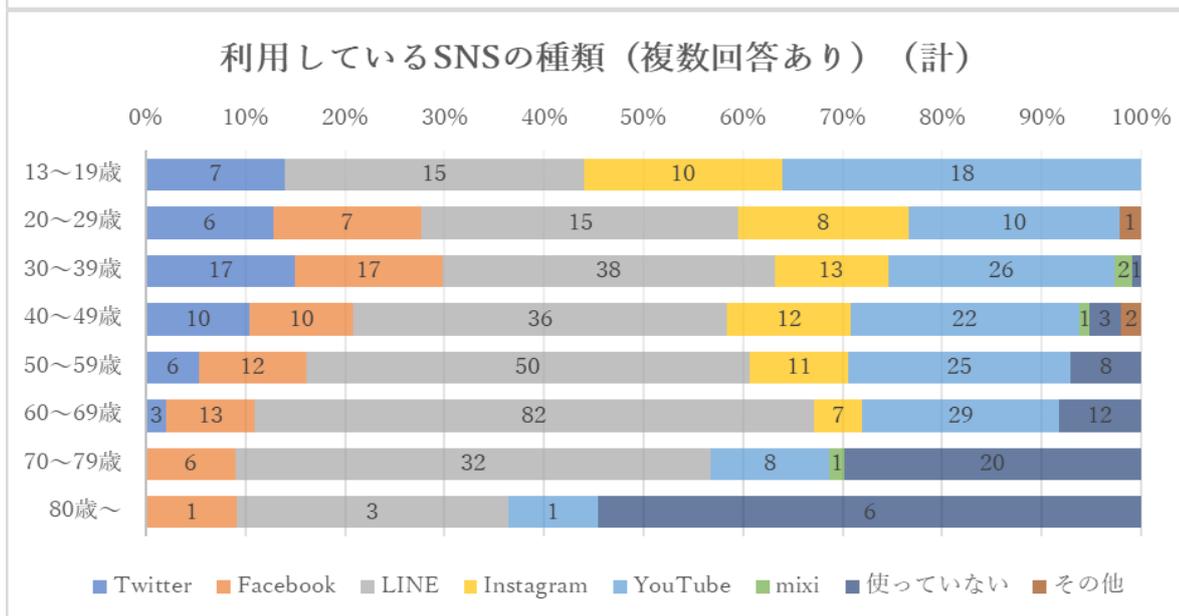
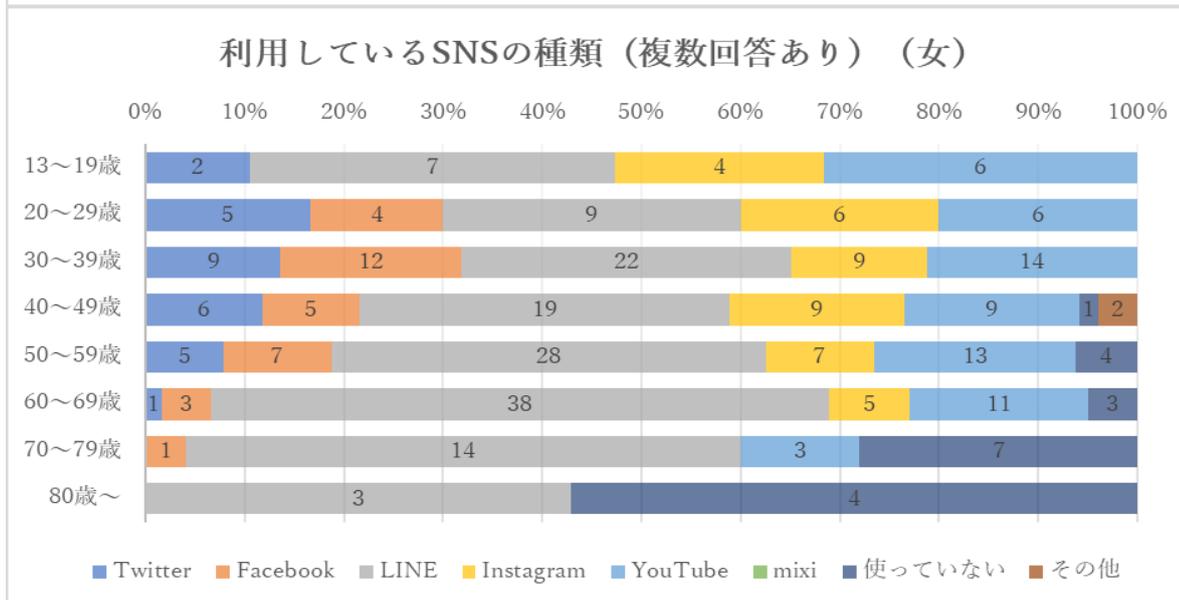
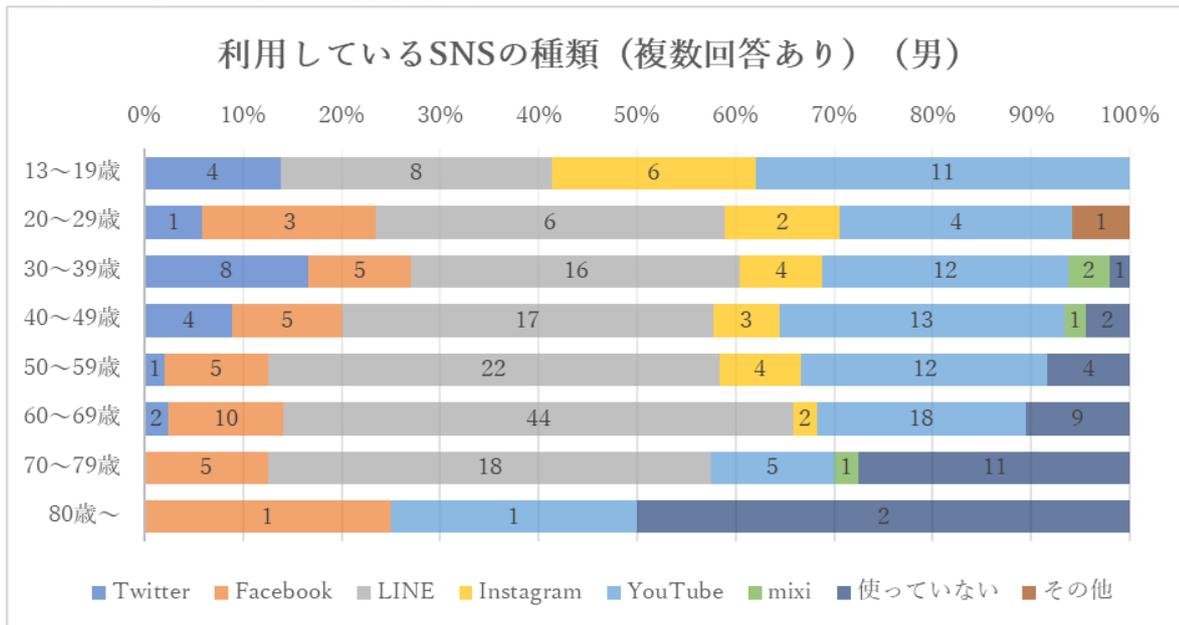
インターネットの使用機器（複数回答あり）（女）



インターネットの使用機器（複数回答あり）（計）

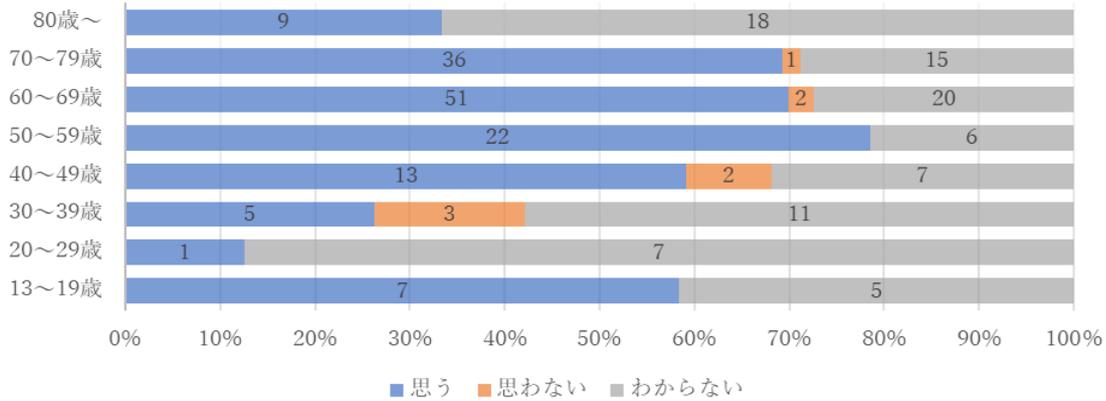


16. インターネットの使用機器

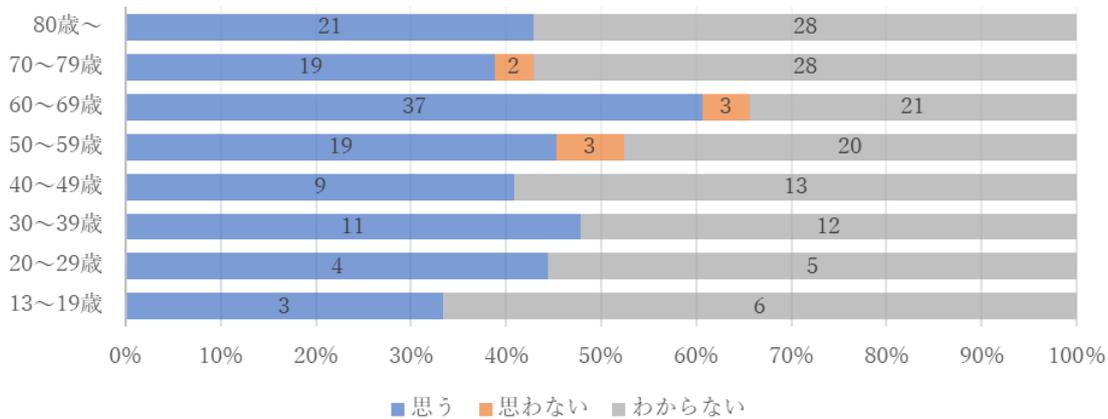


17. 高橋地区の運営にもっと女性や若者の声を反映されるべきか

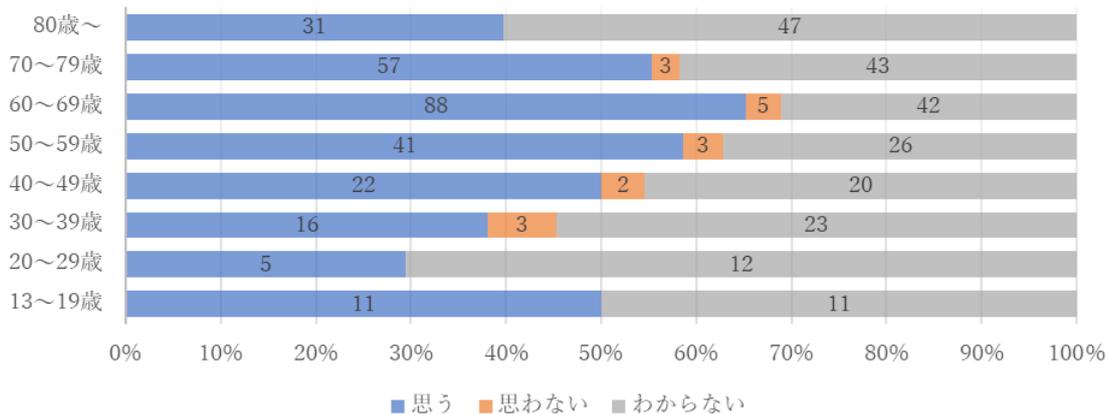
高橋地区の運営について女性や若者の声が反映されるべきか（男）



高橋地区の運営について女性や若者の声が反映されるべきか（女）

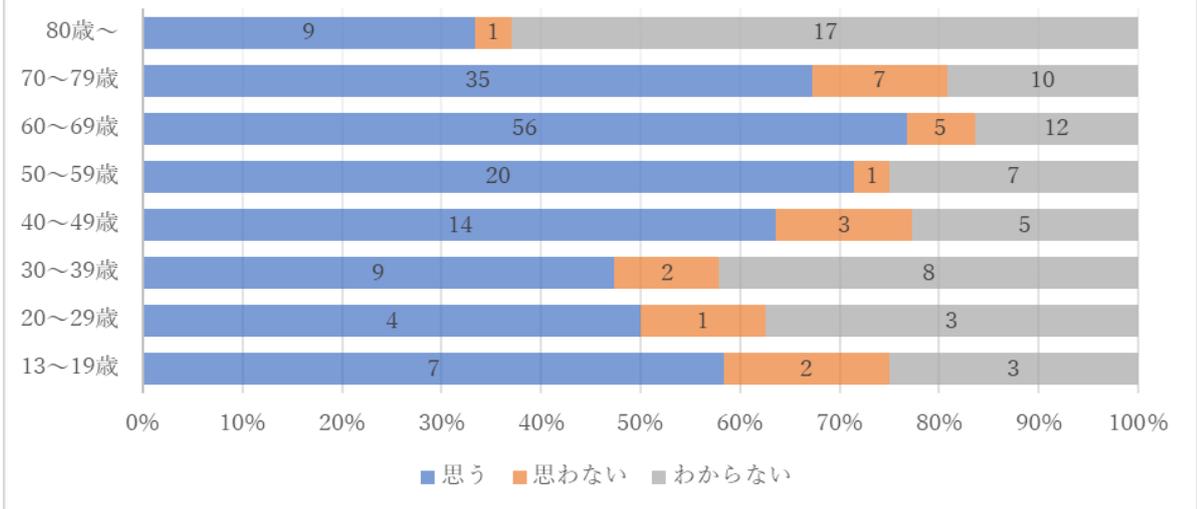


高橋地区の運営について女性や若者の声が反映されるべきか（計）

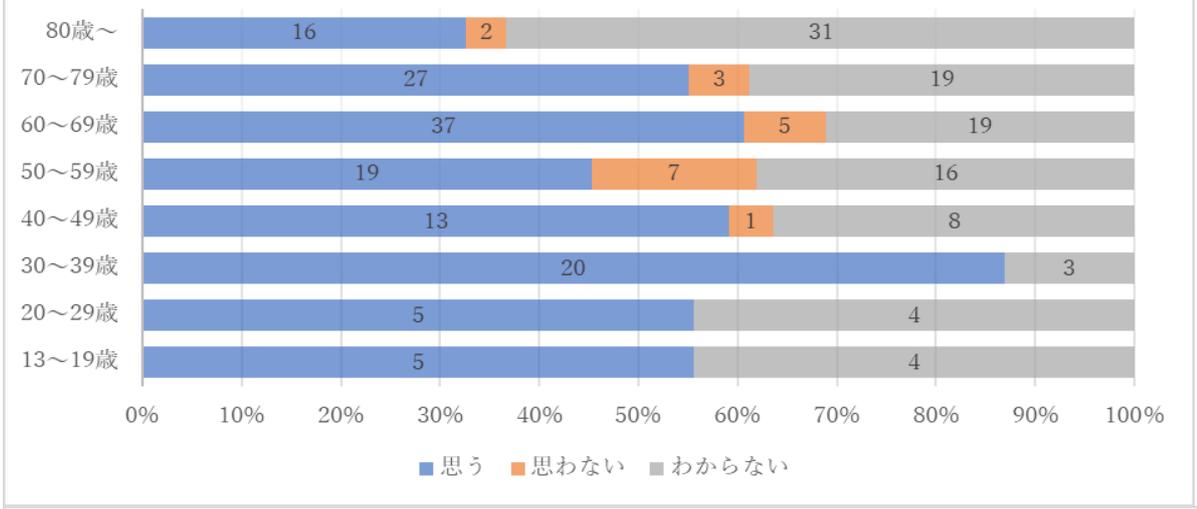


18. 移住者を受け入れるべきか

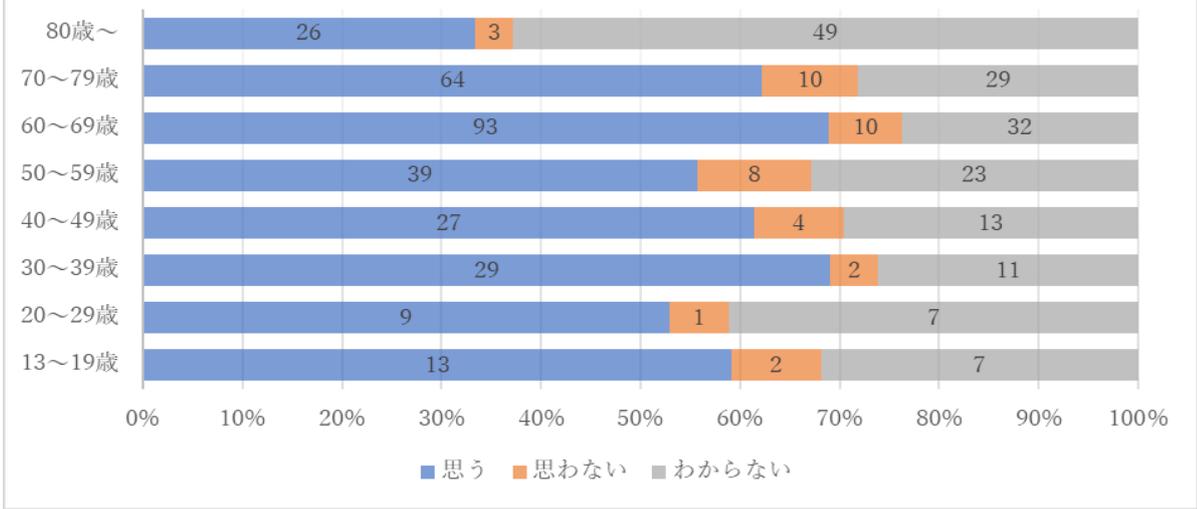
高橋地区は移住者を受け入れるべきか（男）



高橋地区は移住者を受け入れるべきか（女）

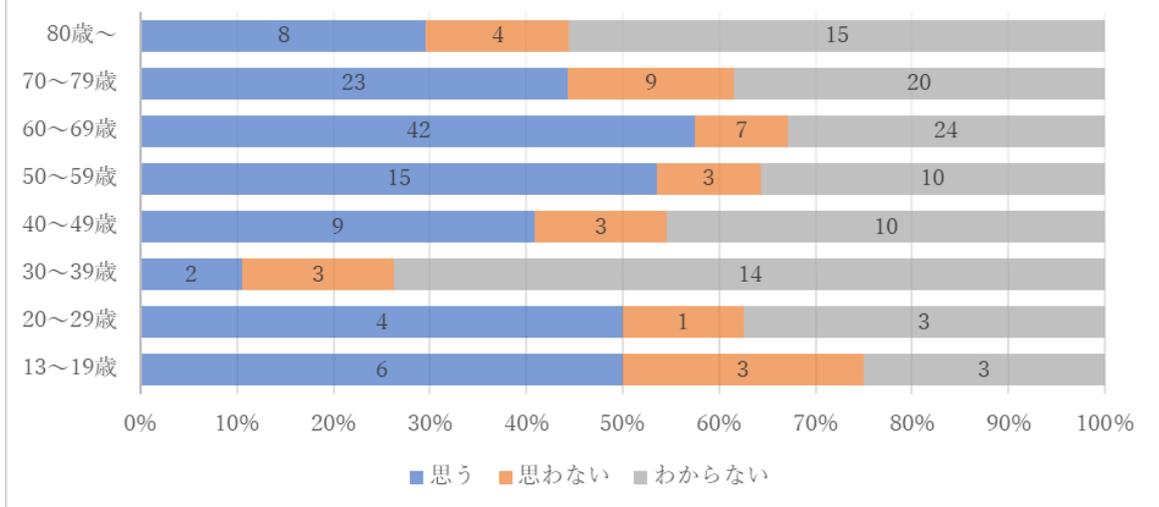


高橋地区は移住者を受け入れるべきか（計）

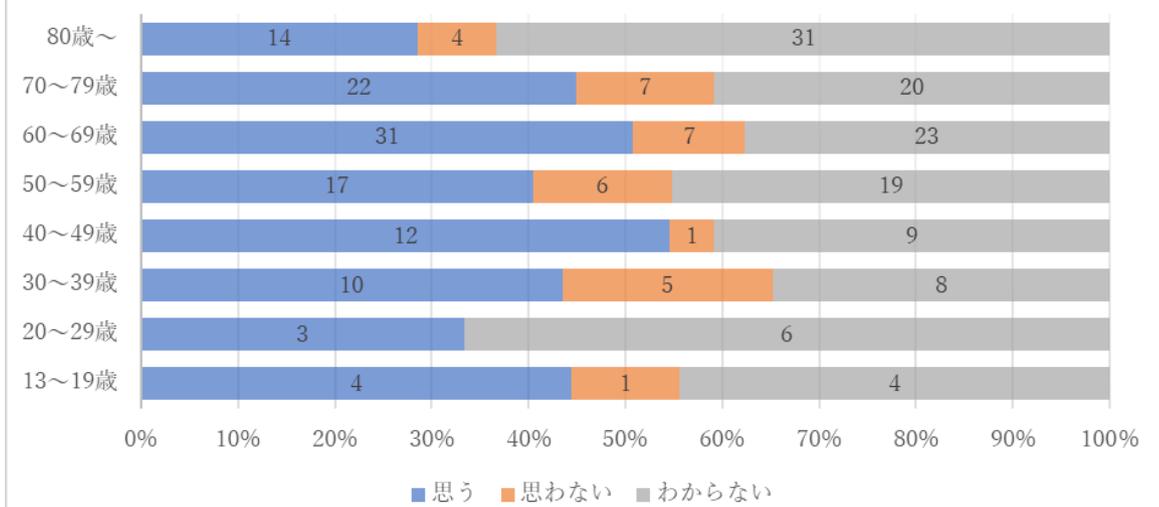


19. 他地区との交流をしていくべきか

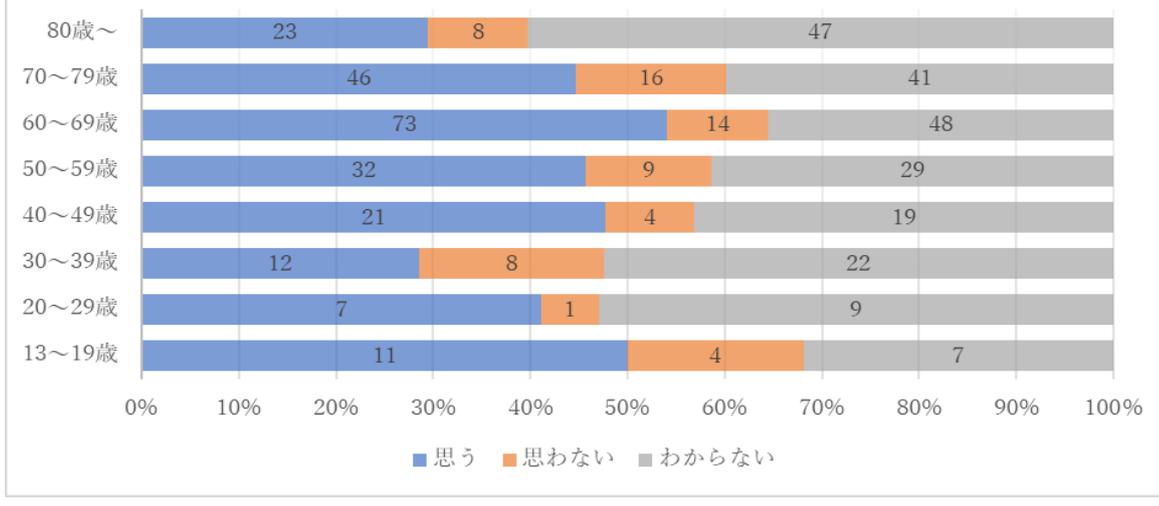
他地区との交流をすべきか（男）



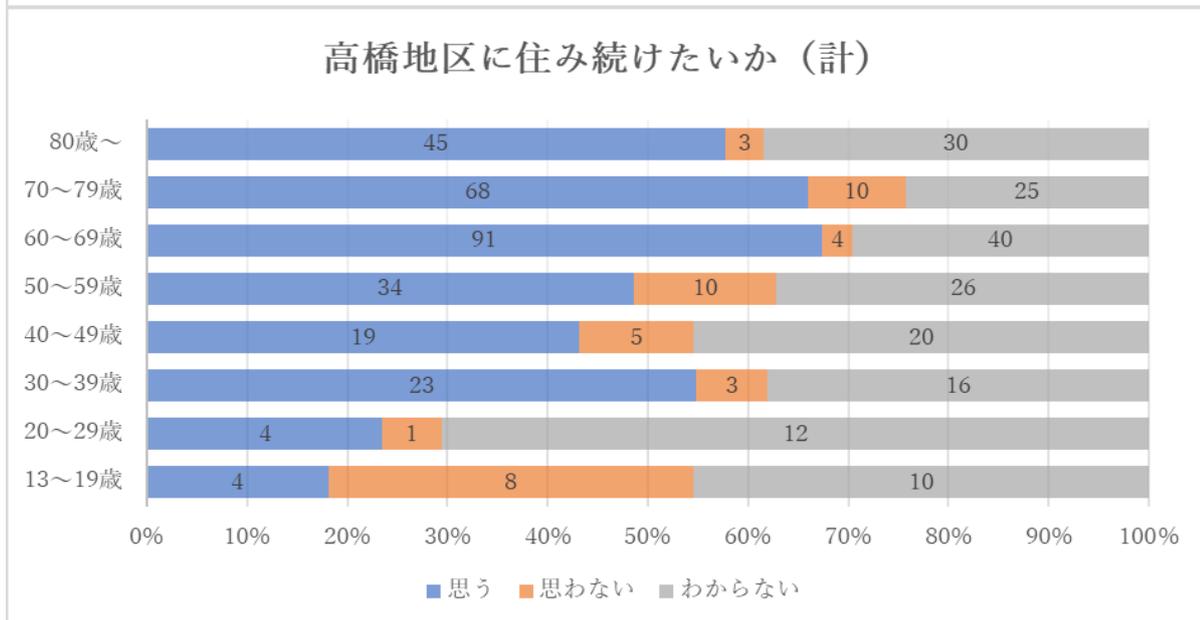
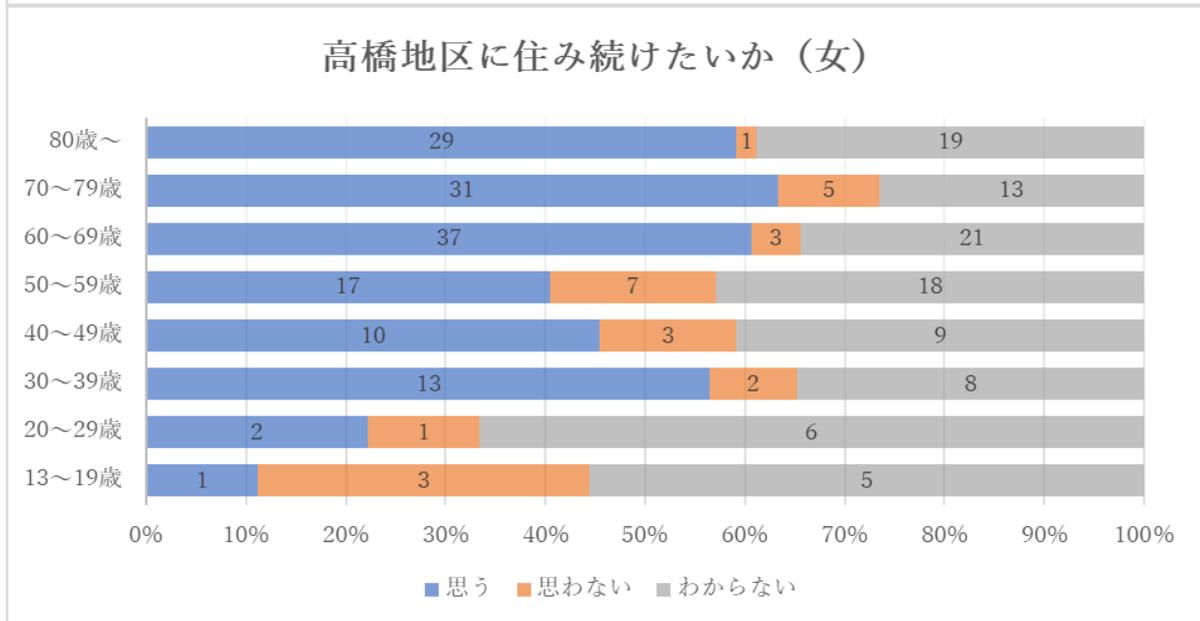
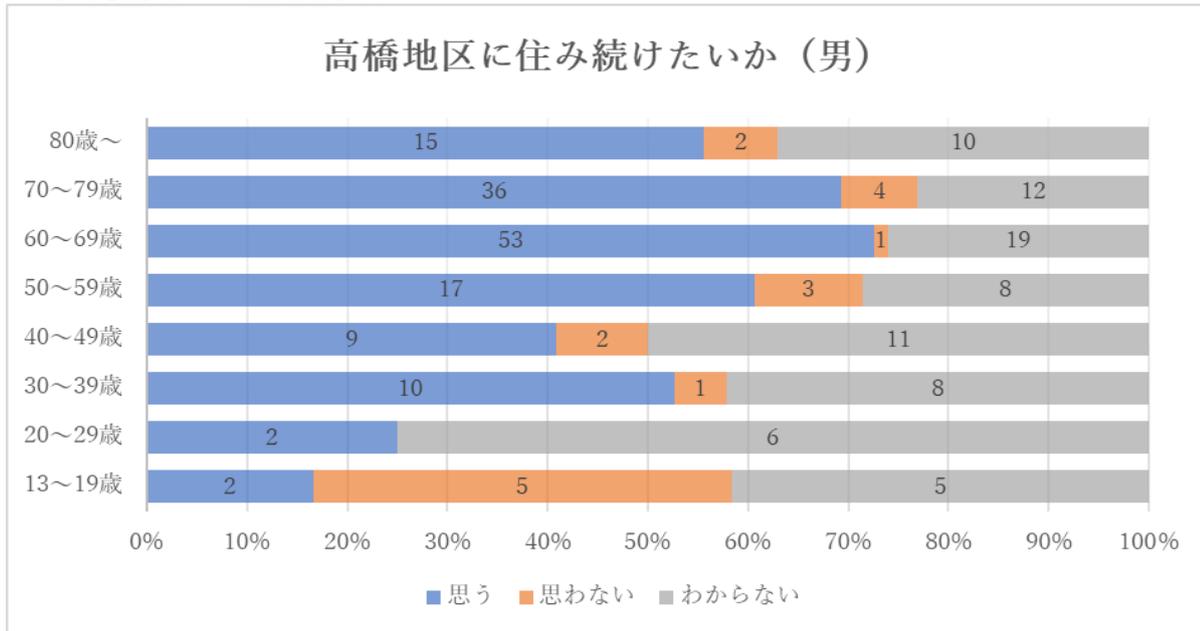
他地区との交流をすべきか（女）



他地区との交流をすべきか（計）

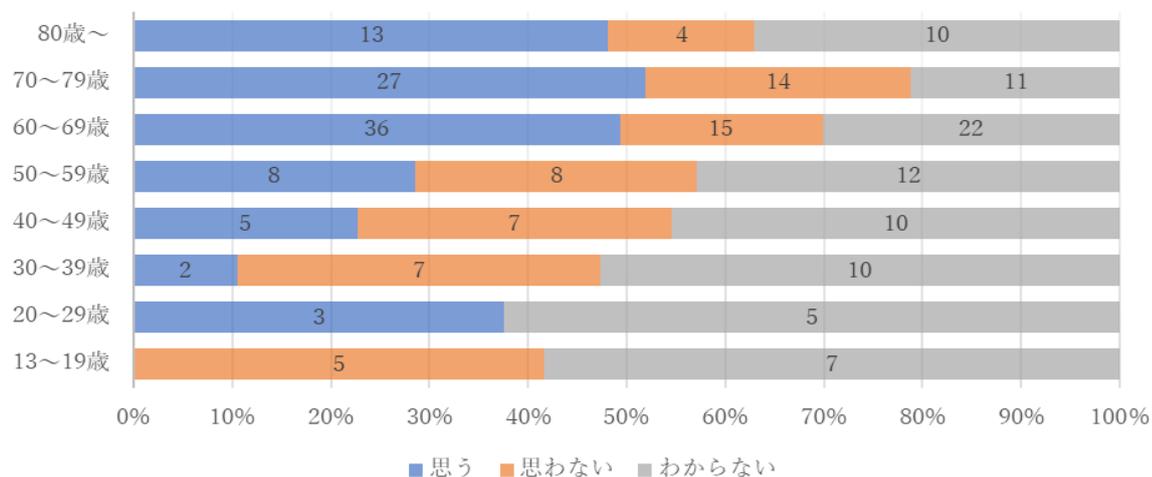


20. 高橋地区に住み続けたいか

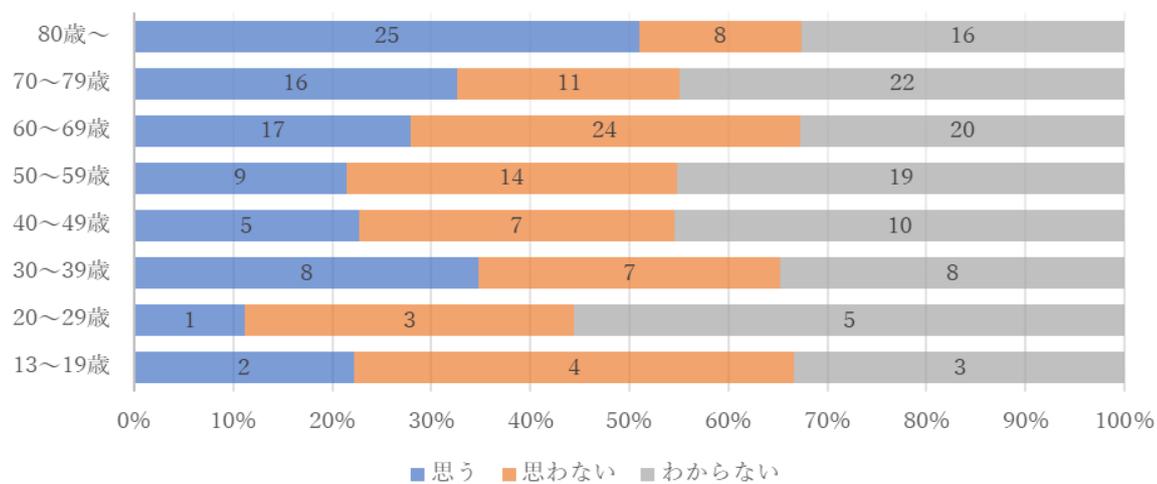


21. 子どもに住んでほしいか

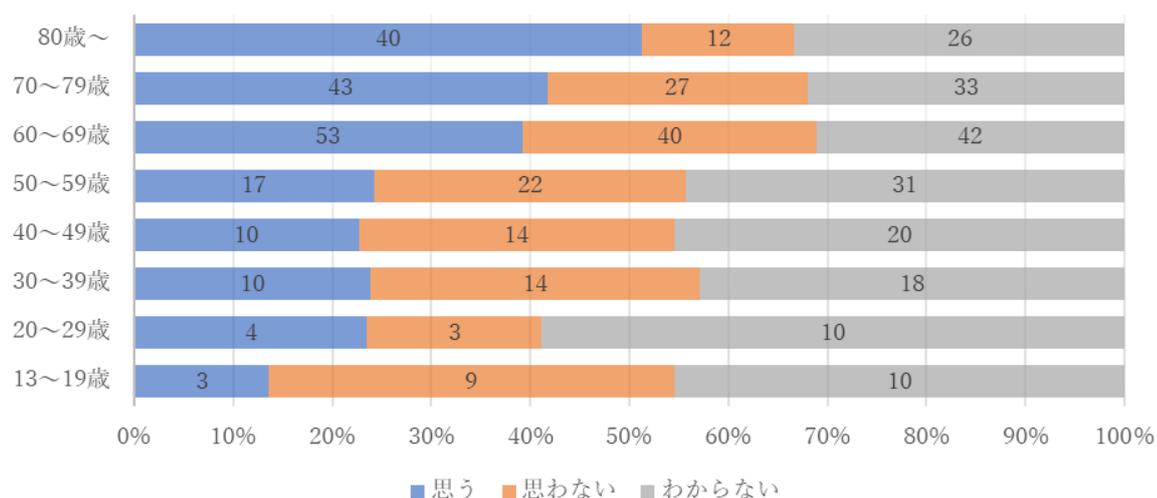
子どもにも住んでほしいか (男)



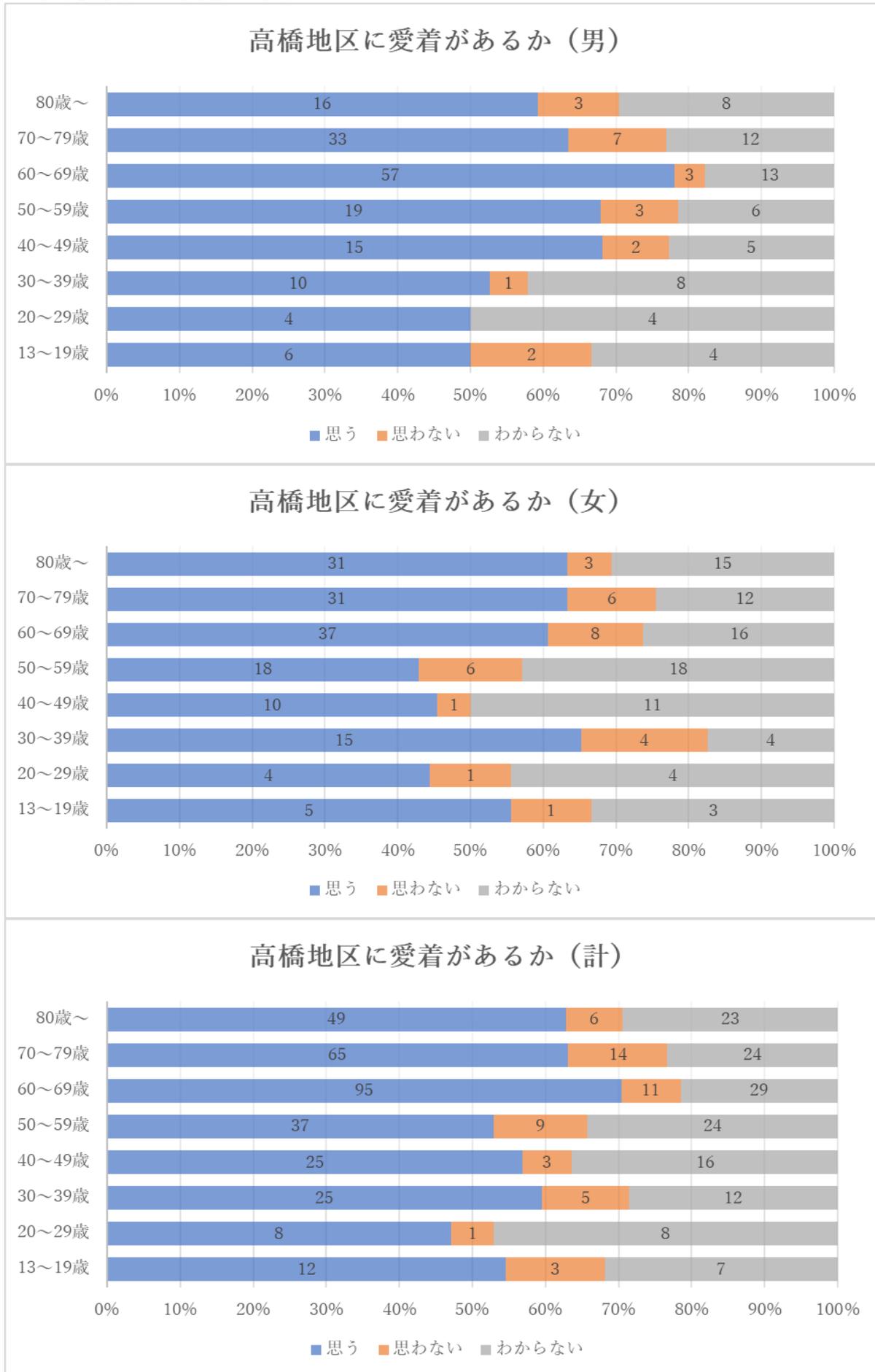
子どもにも住んでほしいか (女)



子どもにも住んでほしいか (計)

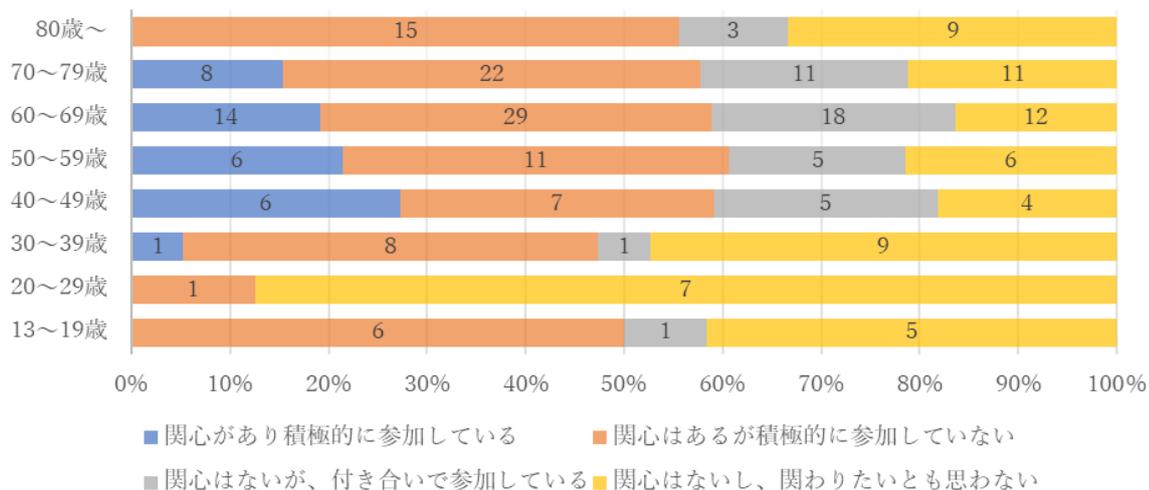


22. 高橋地区に愛着があるか

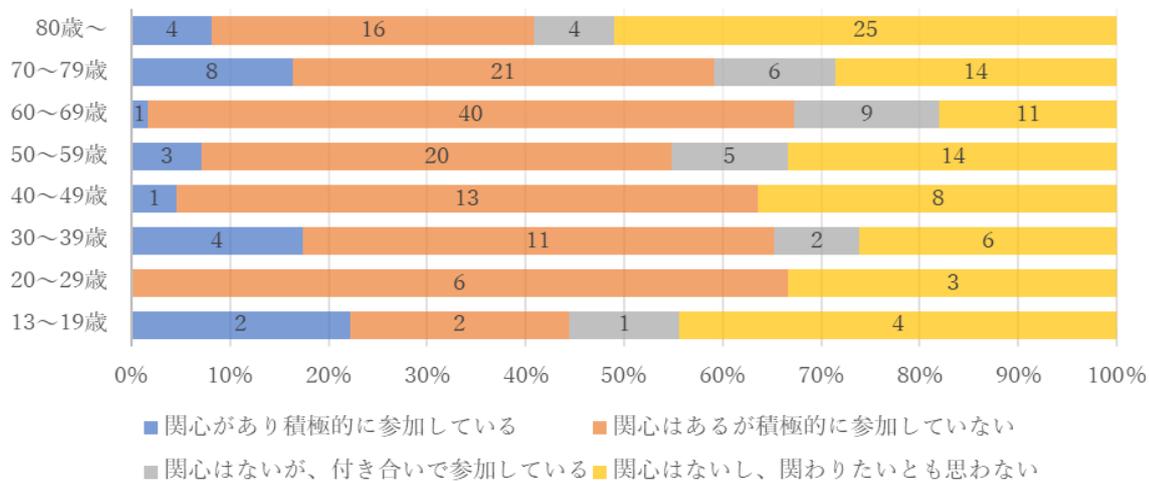


23. 関心度合い

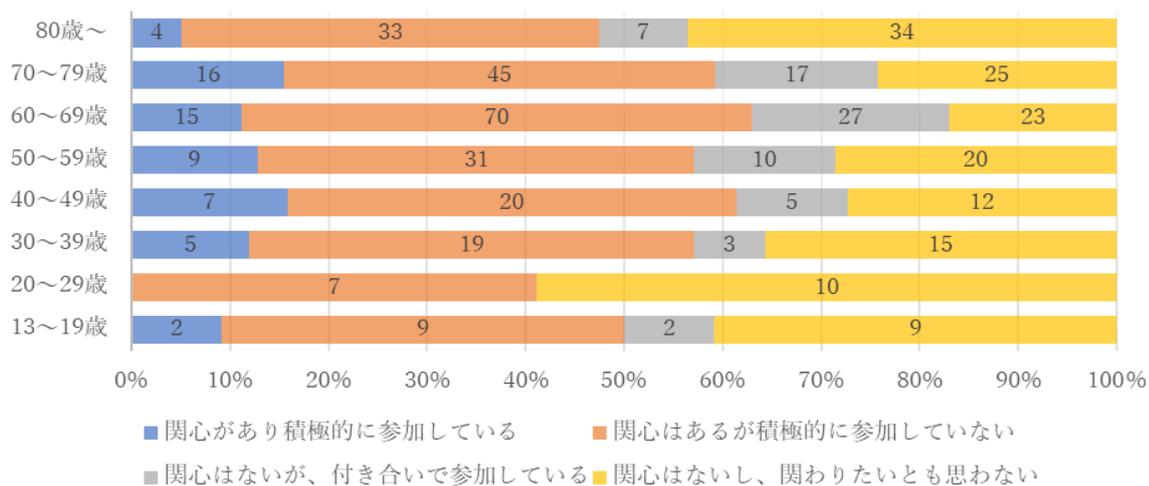
高橋振興対策協議会の関心度（男）



高橋振興対策協議会の関心度（女）

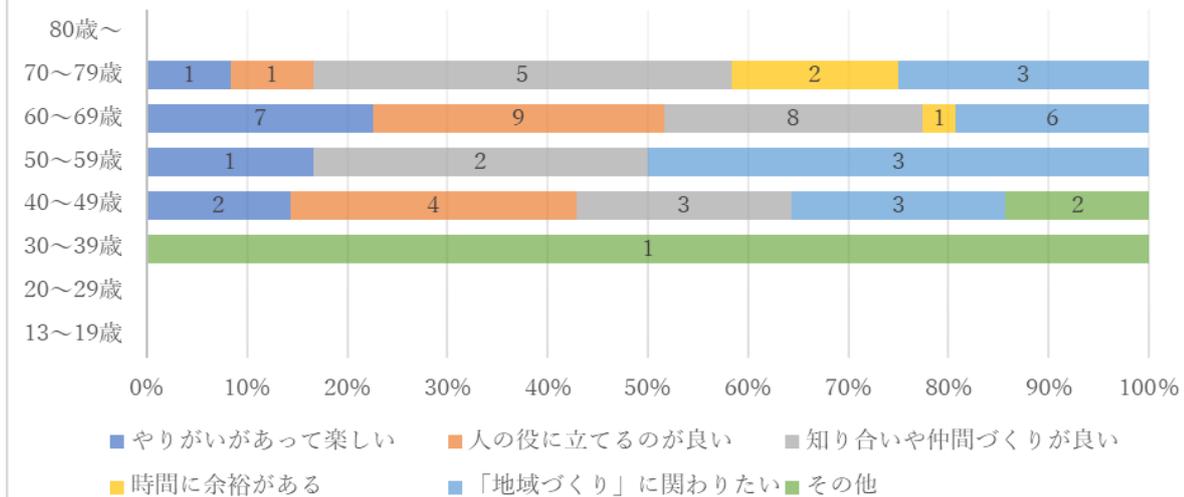


高橋振興対策協議会の関心度（計）

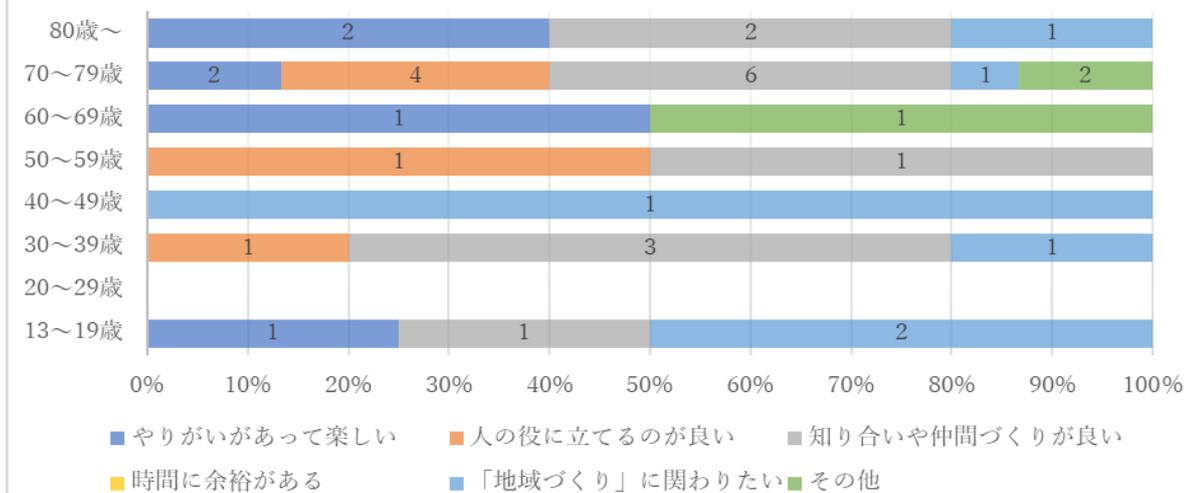


24. 関心があり積極的に参加している理由

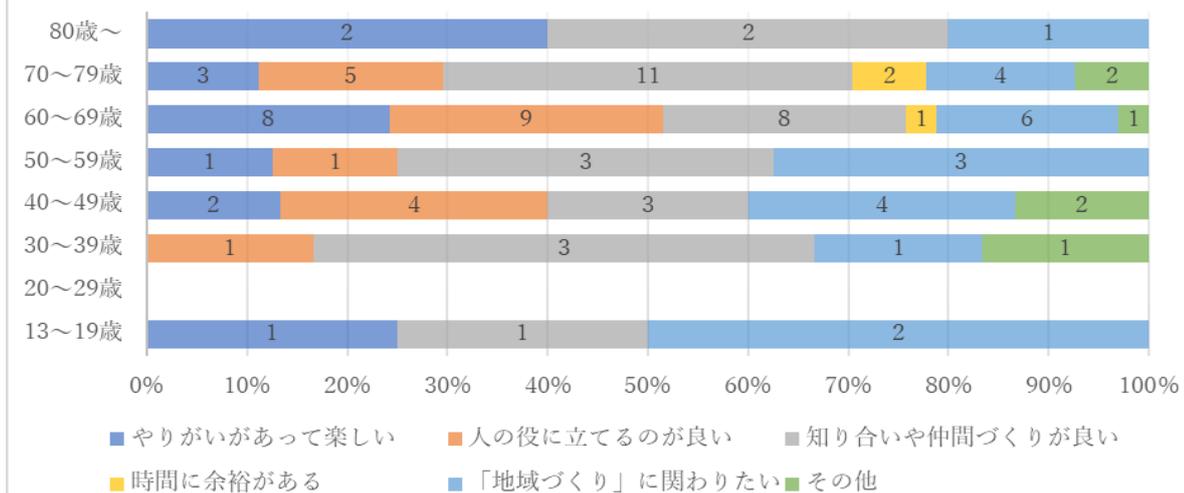
関心があり、積極的に参加している理由（男）



関心があり、積極的に参加している理由（女）

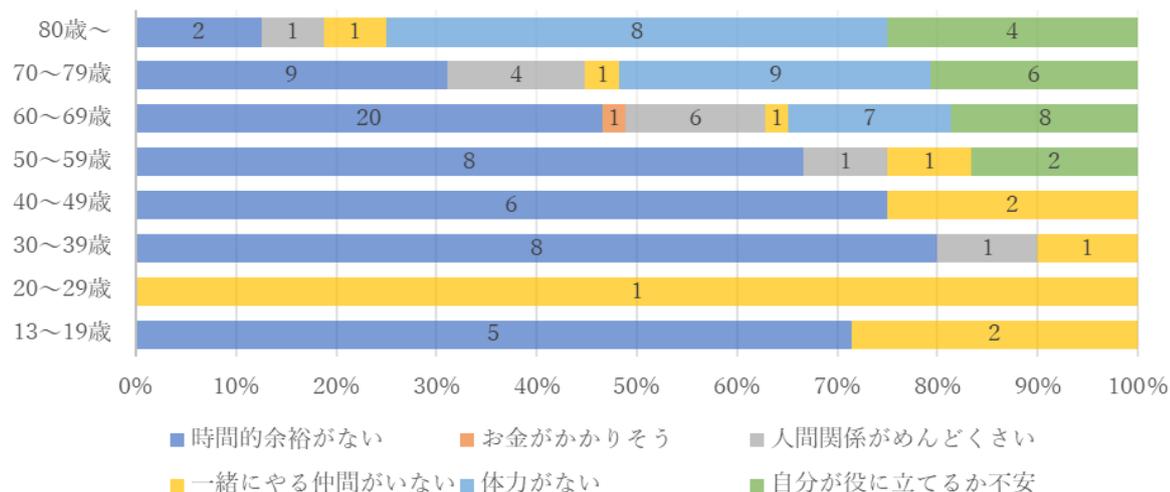


関心があり、積極的に参加している理由（計）

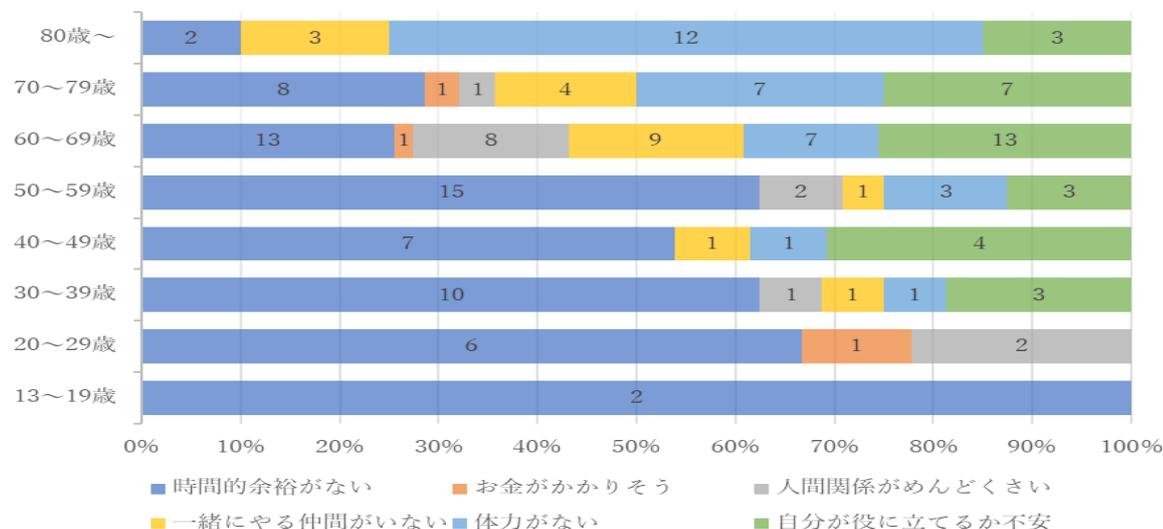


25. 関心はあるが積極的に参加していない理由

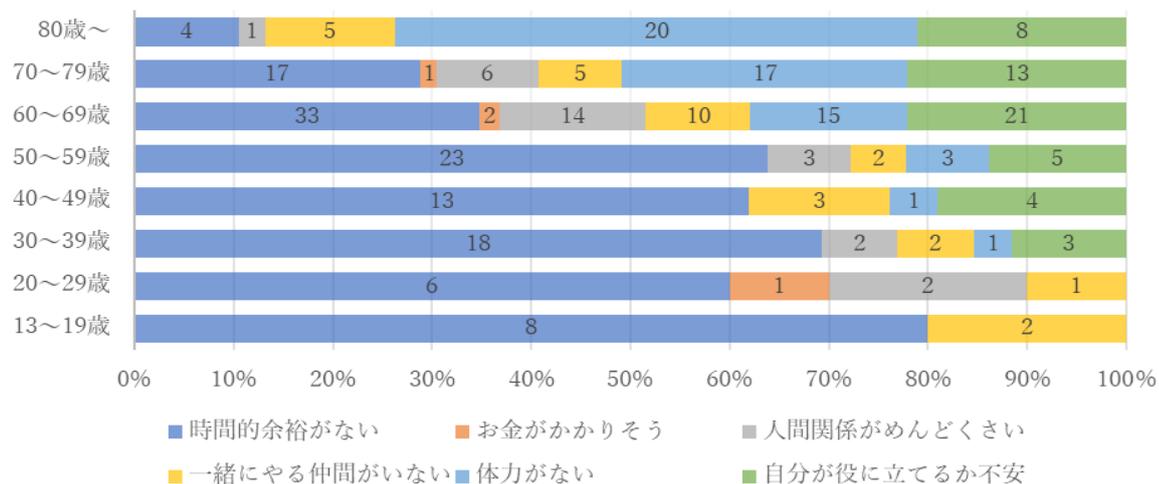
関心はあるが積極的に参加していない理由（男）



関心はあるが積極的に参加していない理由（女）

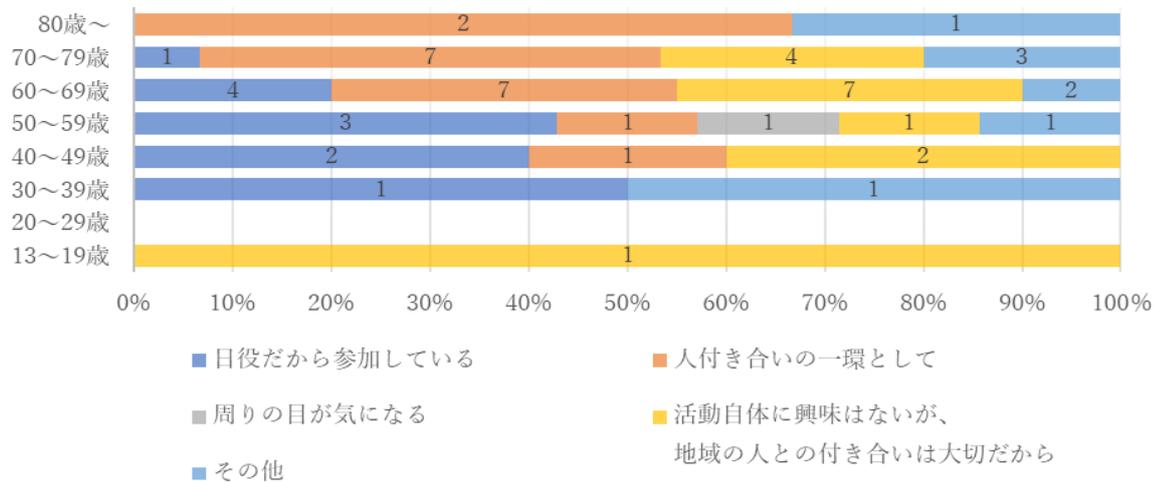


関心はあるが積極的に参加していない理由（計）

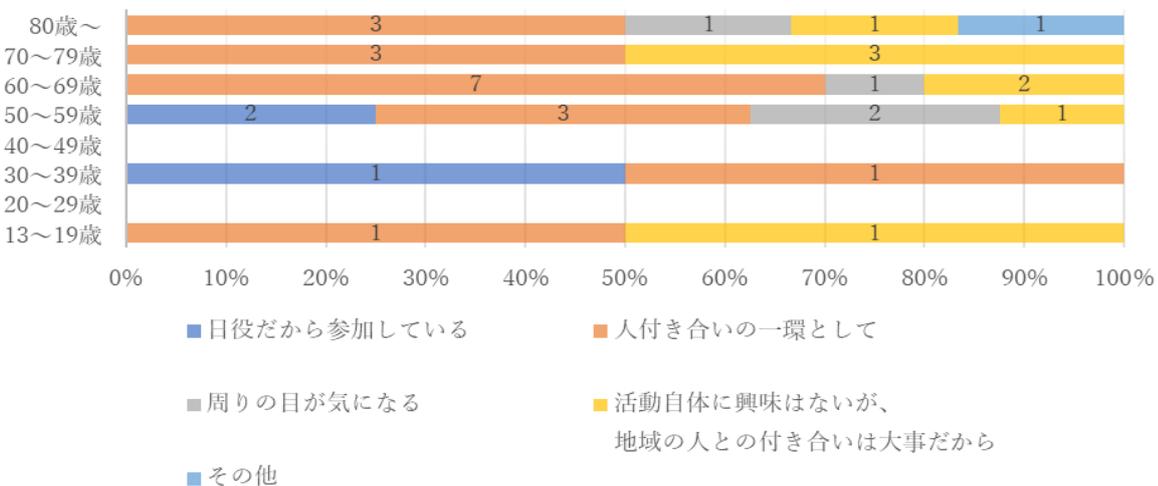


26. 関心はないが、付き合いで参加している理由

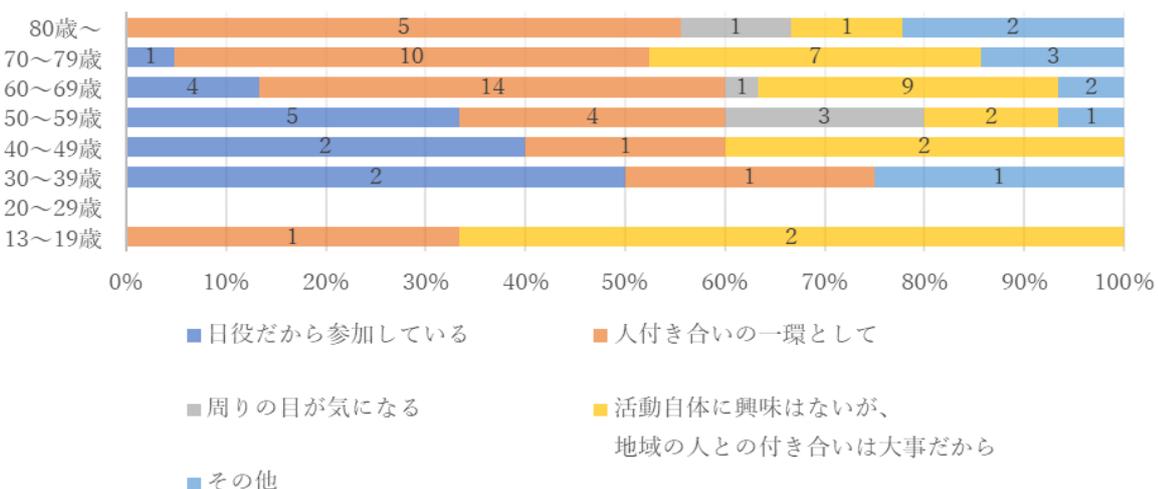
関心はないが付き合いで参加している理由（男）



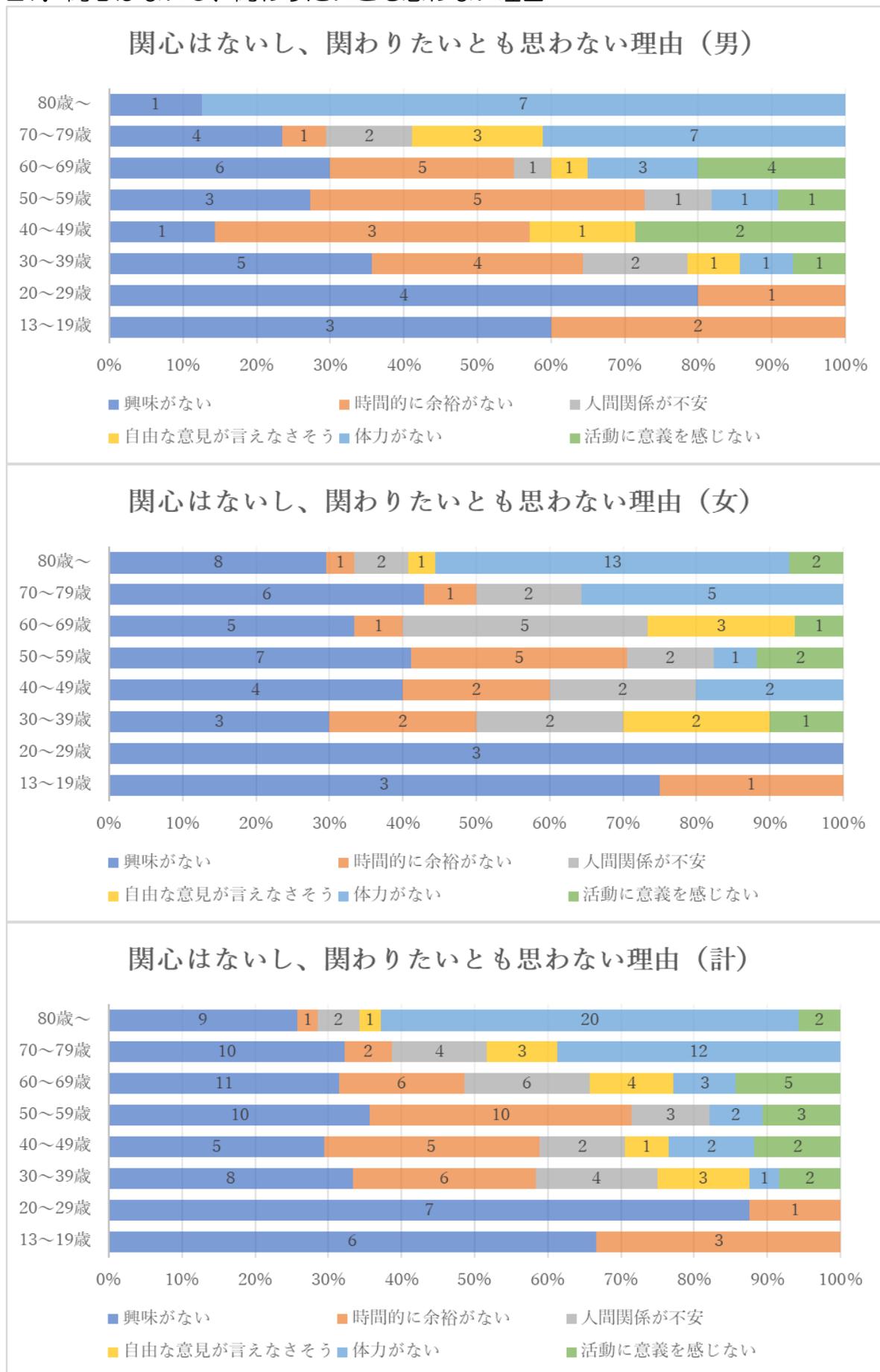
関心はないが付き合いで参加している理由（女）



関心はないが付き合いで参加している理由（計）

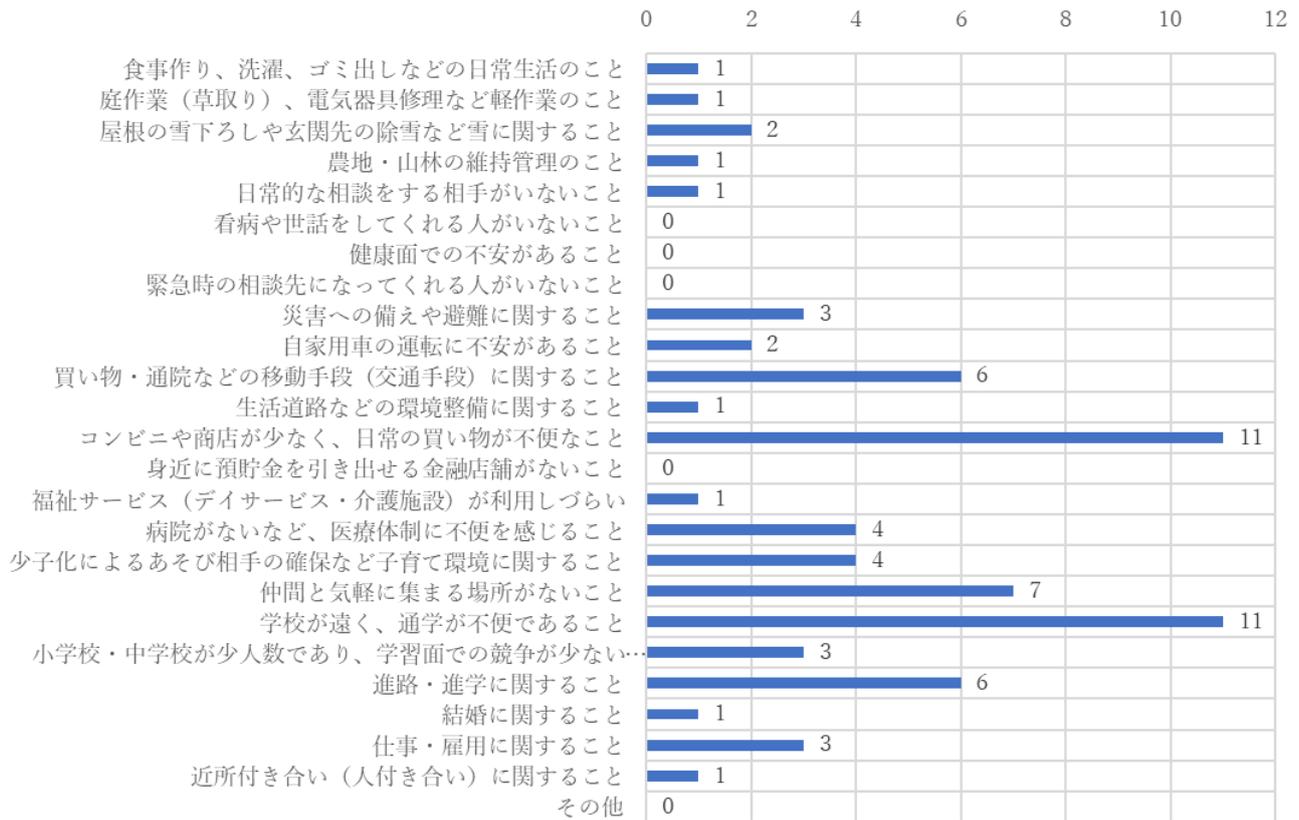


27. 関心はないし、関わりたいとも思わない理由

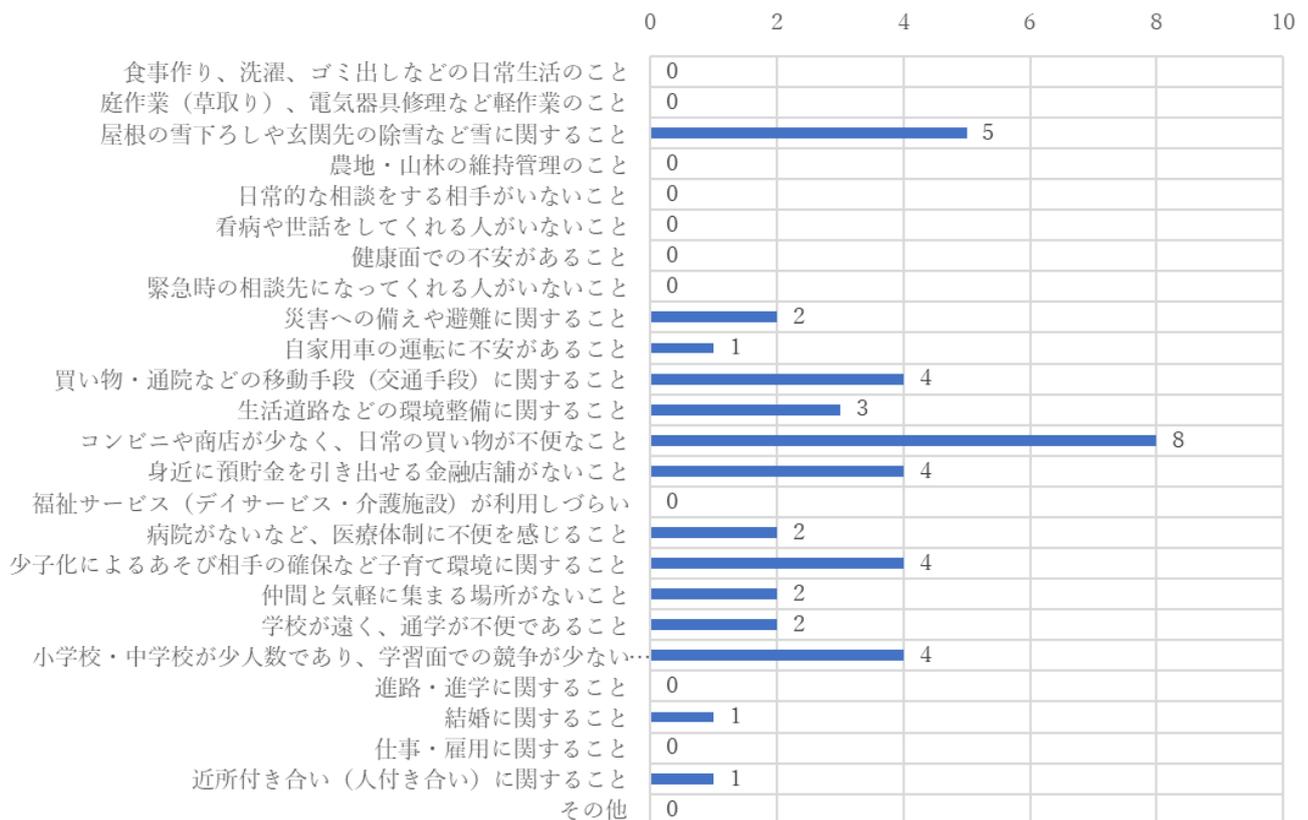


28. 日常生活において不安に思うことや困っていること（世代別）

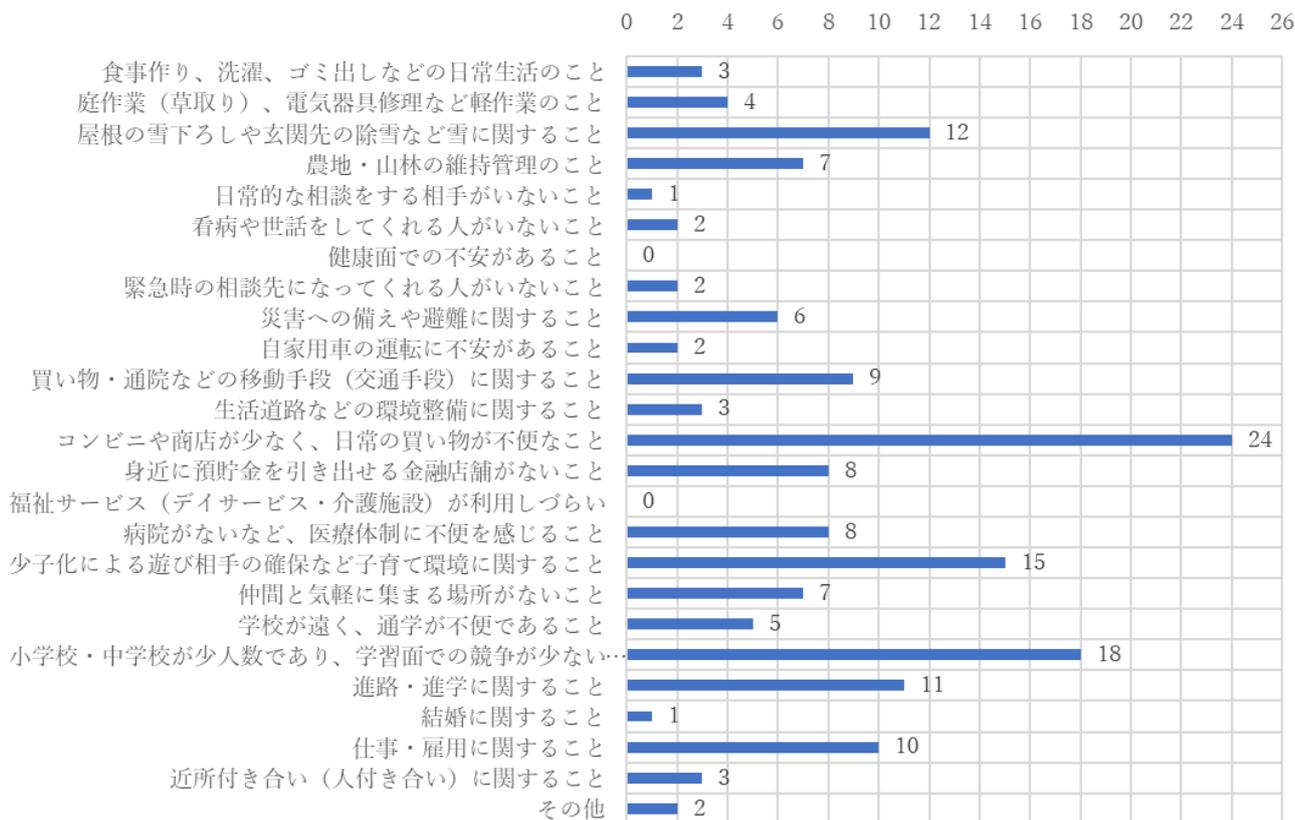
日常生活において不安なこと、困っていること（10代）



日常生活において不安なこと、困っていること（20代）



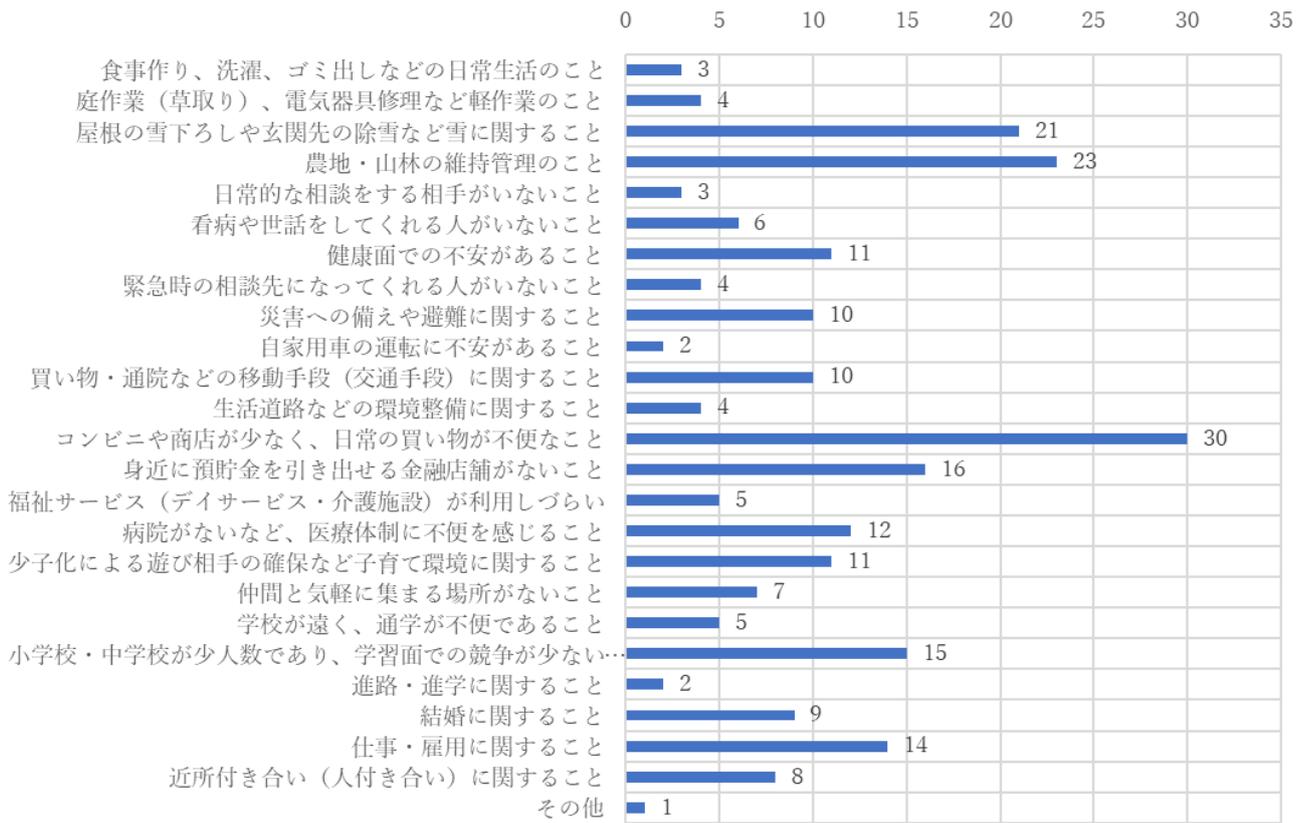
日常生活において不安なこと、困っていること (30代)



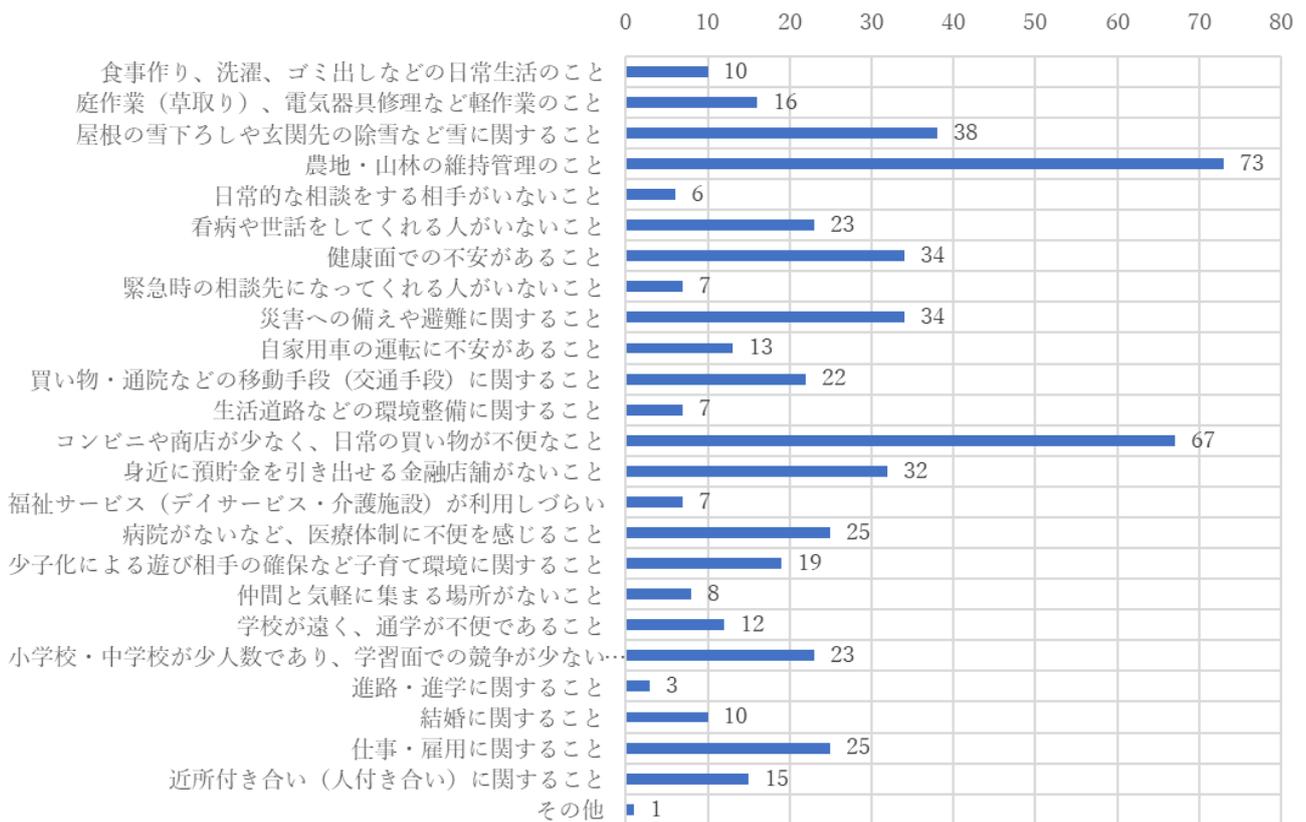
日常生活において不安なこと、困っていること (40代)



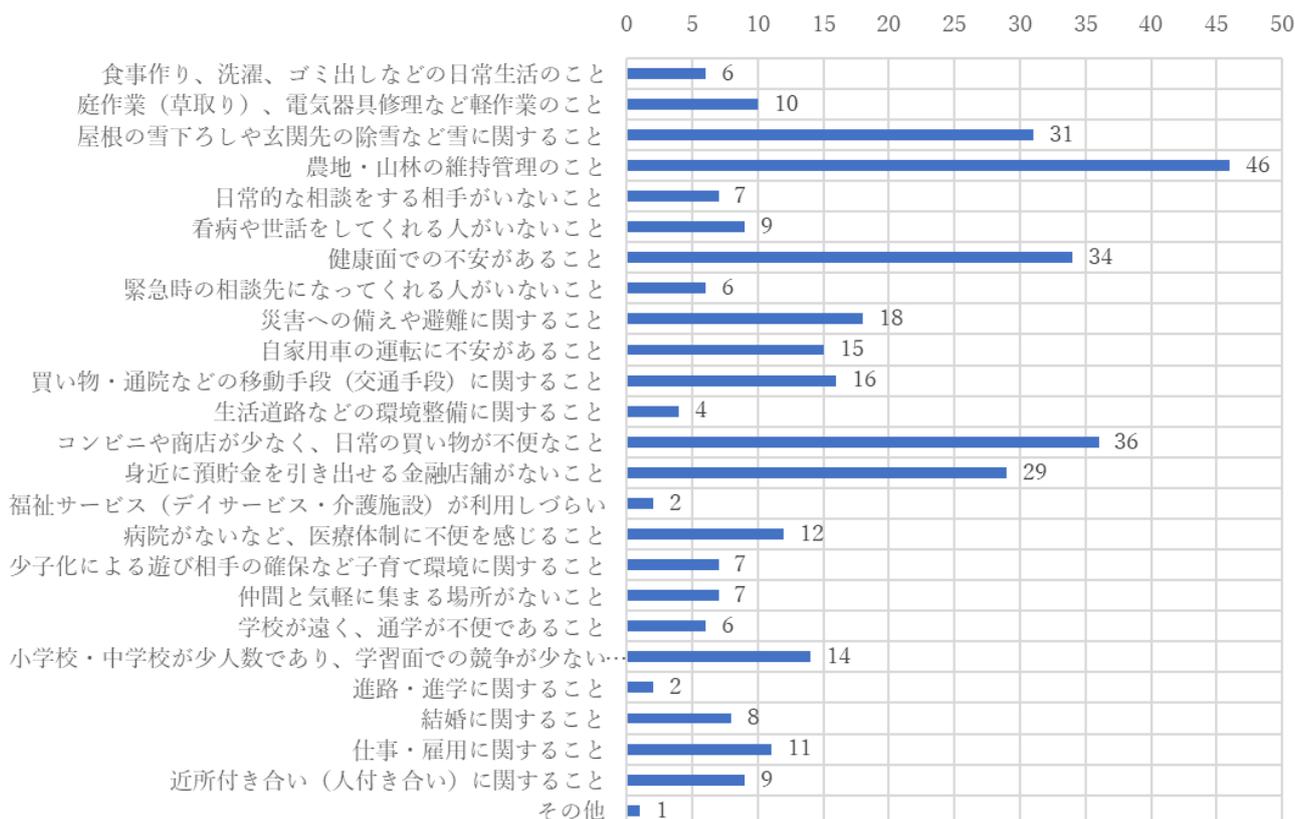
日常生活において不安なこと、困っていること (50代)



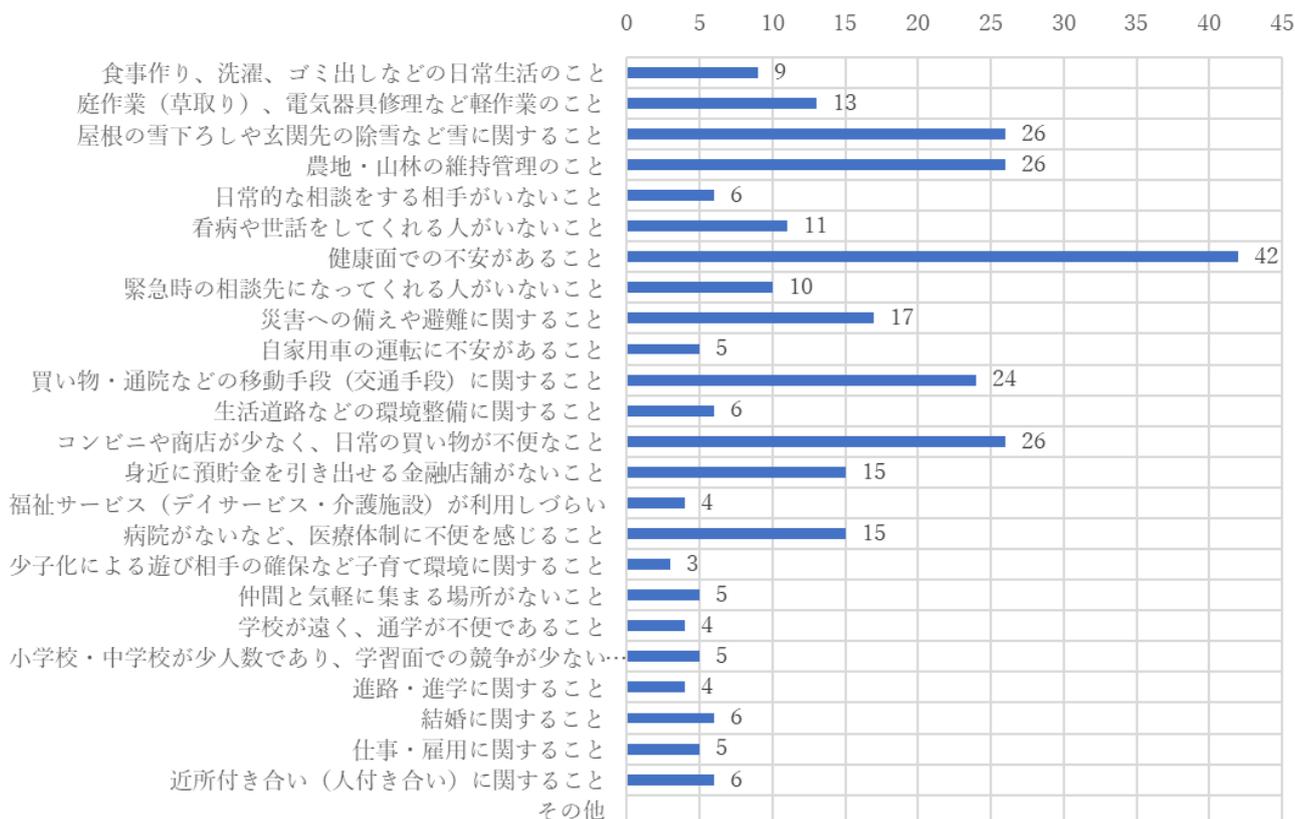
日常生活において不安なこと、困っていること (60代)



日常生活において不安なこと、困っていること（70代）

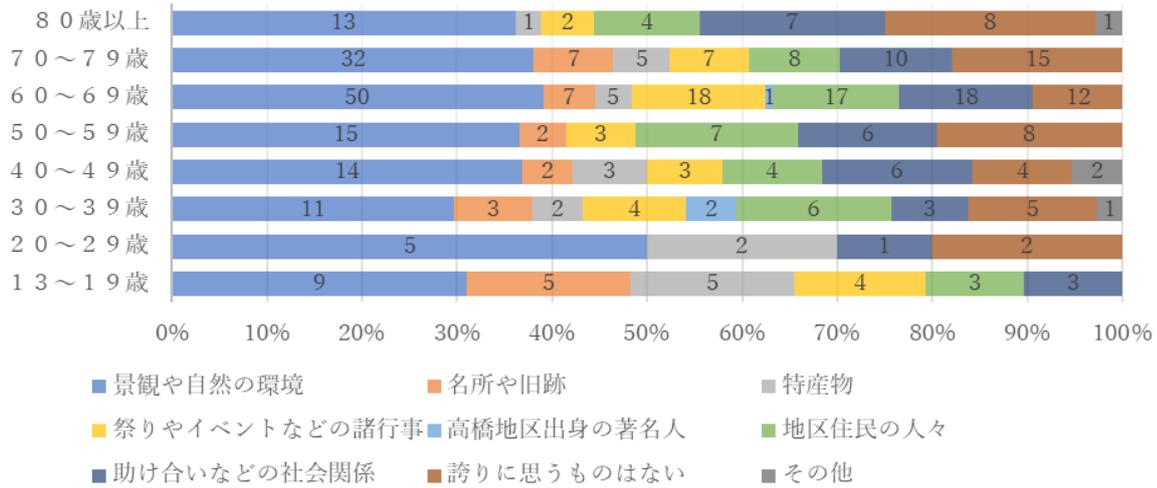


日常生活において不安なこと、困っていること（80代以上）

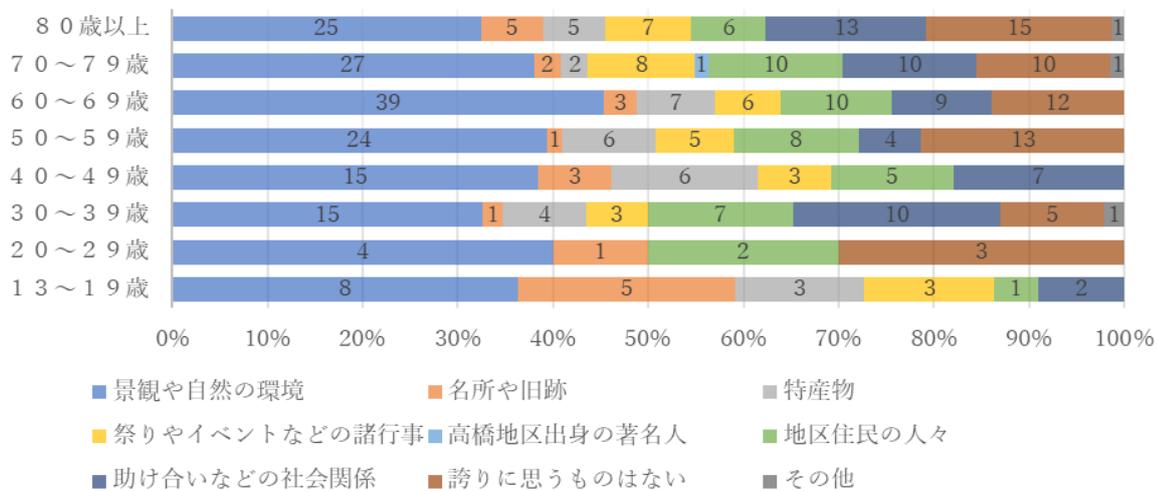


29. 高橋地区の良いところ

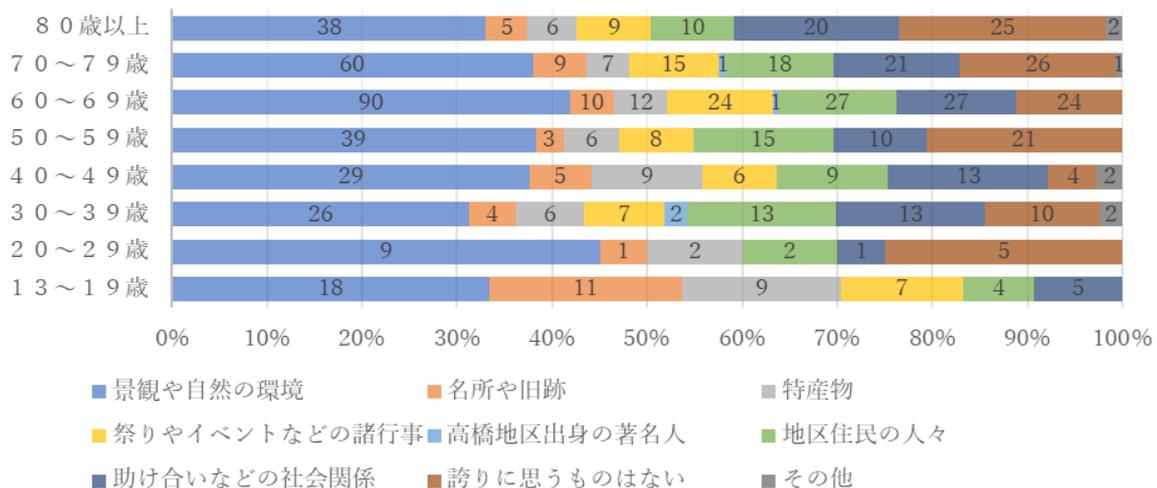
高橋地区の良いところ（男）



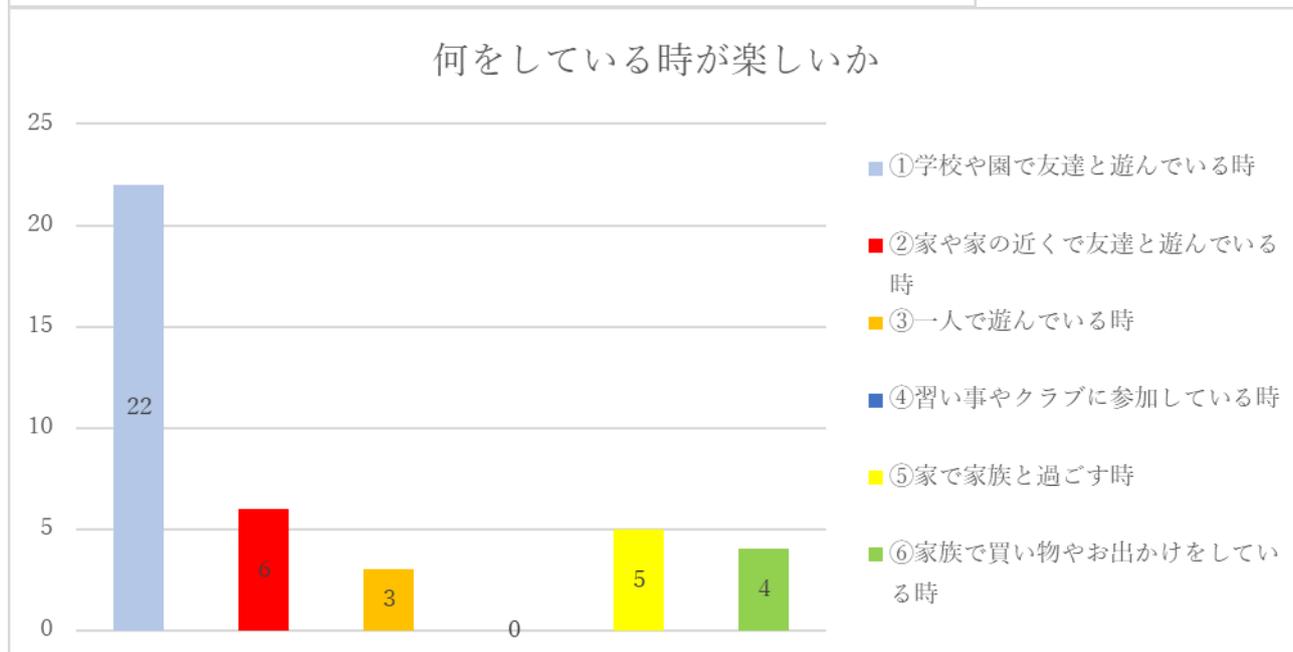
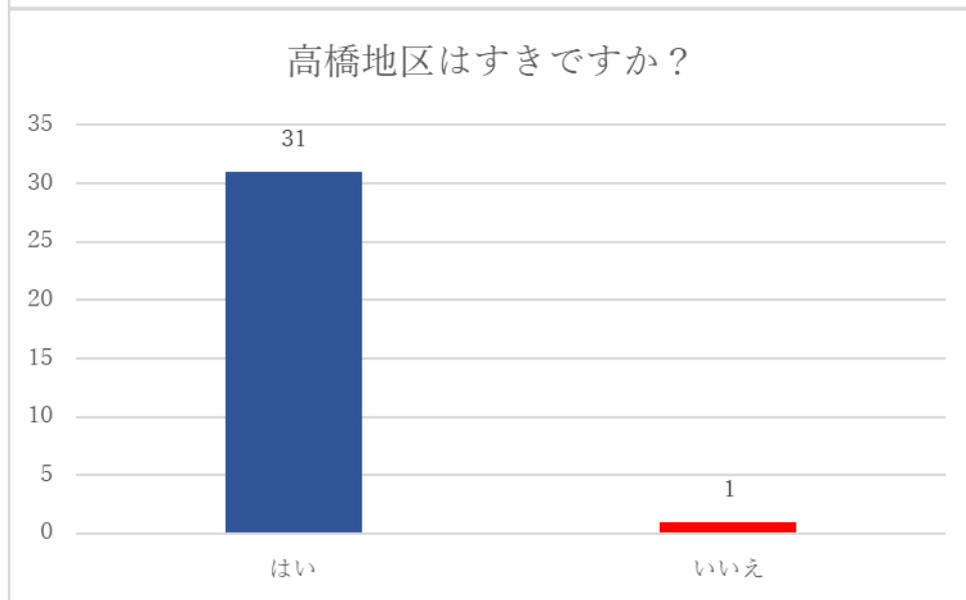
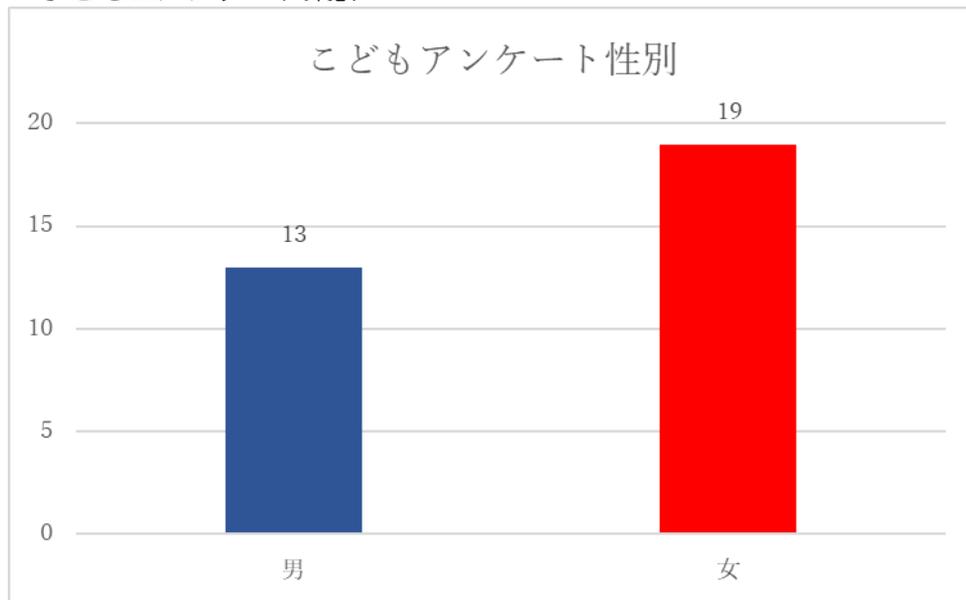
高橋地区の良いところ（女）

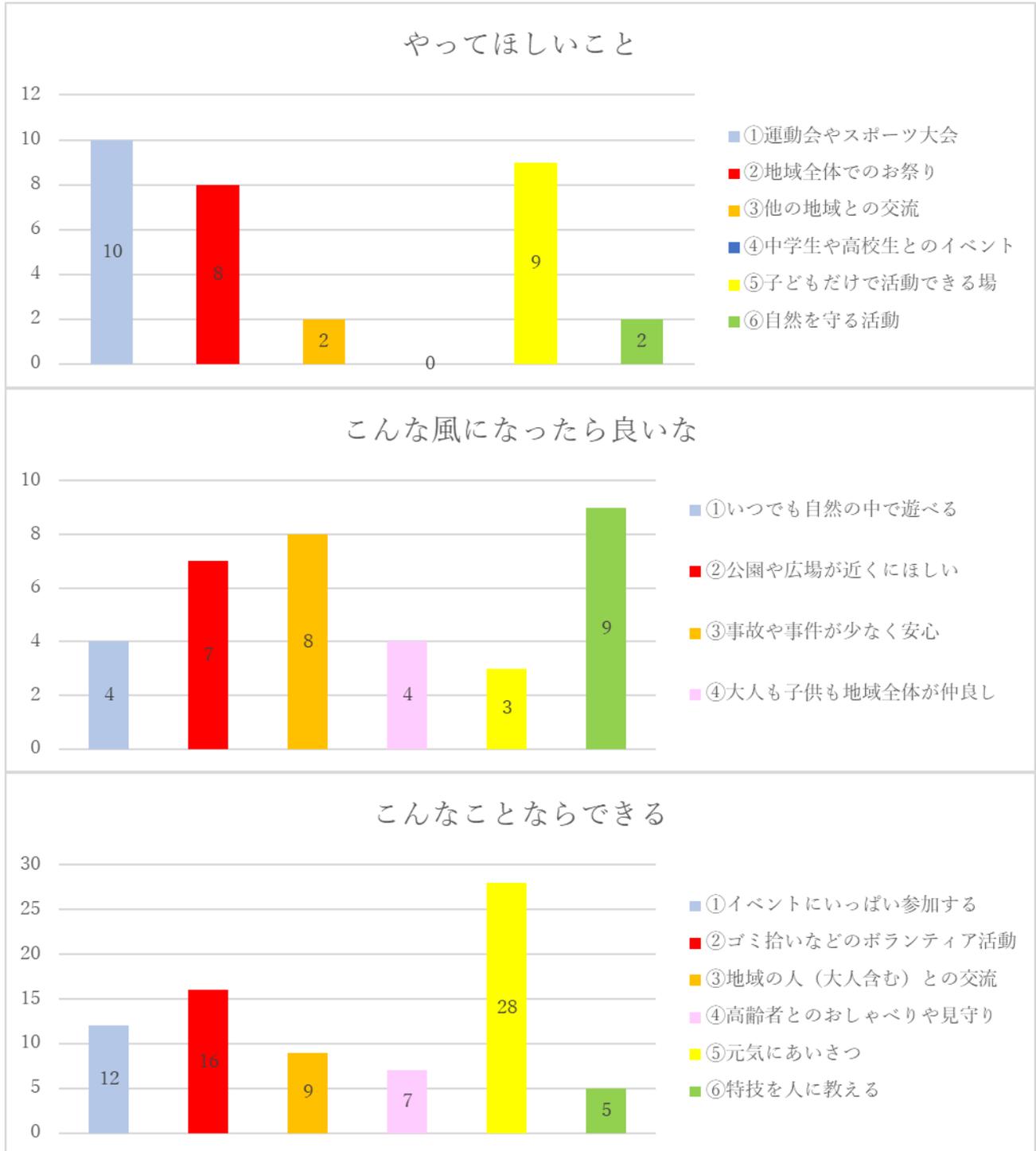


高橋地区の良いところ（計）



～子どものアンケート集計～





自由記載
こども園と小学校との交流を増やしてほしい。 休みの日でも病院（診療所）が開いているといいな。
いっぱい（自分たち子どものことを）見ていて（見守って）くれる人がいる
空気がきれいです。
たすけやい（助け合い）
友だちと仲よく遊ぶ時が楽しいです。
友だちがたくさんになってほしい。
近くに遊ぶところがほしい
これからも元気で挨拶したほうがいいと思いました。 元気がないし、暗い顔で元気が出るように元気になってもらうために元気に挨拶しました。 励ましてあげられるようにするためです。
ごみをいろいろな場所にすてなくする。
これからもじこやじけんがないようにしていったらいいと思いました。
自分にできることをしていきたいです。
きんじょの人がやさしいです。
そのままの自然と少し離れた場所に行かないとスーパーやコンビニがないので 近くにほしいし大きな公園を作ってほしい。
いろんな人と交流したい。自然の中で虫や鳥といっぱいふれあうことができるようにしたい。 イベントが楽しい。年に1回のサンタのごみ拾いをすると気持ちが良い環境が良い。
小学校の人数が少ない
高橋地区は、自然豊かで、コロナウイルスの予防もできているからこのまま続けてほしいです。
高橋地区で、他の地域の人と交流をしてみたいと思いました。 あと、私たちが暮らす高橋が、事故や事件がない安心できる高橋になったらいいなと思った。
高橋は自然がいっぱいでいいところだと思う。 しかし、人が少なくなってきたり、地域の人との交流が少なくなっていると思うから、 もっとたくさんの人と触れ合うことが出来るといいのではないかと思った。 自分の家の近くのバス停にゴミが落ちているのをよく見るので、清掃活動ができるといいと思う。
自然と触れ合えるイベントなどをやるといいと思う。
地域の人が楽しめたり、にぎわえるようなところがほしい。（スーパーを近くに置くなど）
高橋地区には、スポーツ大会があまりないように思います。 なので、もっとスポーツ大会をやってほしいなと思います。 高橋は自然が良いので、もっと自然と遊べたらいいなと思います。例えば自然を生かしたアスレチックなどがあれば楽しいだろうなと想像できました。
いつまでも自然が豊かな高橋が良いです。

3. 高橋地区における地域づくりの問題点・課題

高橋地区では、地域の状況やこれまでの取り組み経過と、アンケート調査の結果などから、地域づくりにおいて、以下のような課題があると考えています。計画 2020 以来、新たに課題となってきた事項は目立ってはいませんが、より深刻化した課題が散見されます。

今後は、これらの問題や課題を解消するために、様々な取り組みを加速させていく必要があります。

①少子・高齢化社会への対応

②地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取り組みの促進

③地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み

④美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実

⑤地域産業の活性化

⑥地域づくり活動の財源確保と実行体制の早期確立

⑦地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上、地域コミュニティ組織の刷新

第3章 高橋地区の将来像

高橋地区では、本計画の策定にあたり、次の5年、10年を見通し、次代に相應しく、暮らしやすい地域が持続することを願って、新たな将来像を、みんなで考え、以下の通り設定することとしました。

【高橋地区の将来像】

私たちが暮らす“高橋地区”は、

住民みんなが夢を持って、
生き生きと、元気に、笑顔と活気があふれ、
つながりと多様性を大切にしたい地区

を目指します！！

高橋地区では、全ての住民がつながりを大切にしていって暮らしています。

この地域の良さを、これからも大切にしつつ、新しい時代に対応して、日頃の会話や支え合いだけでなく、ICTなども活用した地域外とのつながりも大いに広げ、モンゴルやベトナムといった外国の方々とも仲良く、多様性を受け入れられる、みんなが誇れる地区を目指していきます。

【将来像の検討にあたって寄せられた、地域の皆さんからの意見】

- ・子どもから大人まで笑顔溢れる地区。そのために「自動運転」の試験場に選ばれ、オンライン診療サービスを受け、いつまでも健康で安心して住むことができる住環境が整っている地区
- ・子供と高齢者が一緒になっているいろいろなアイデアを出し合い元気で楽しい地域ができればいいな！
- ・コロナ後の社会で都会からの移住者や、Uターン者が少しずつ増え、人と人との交流がよりさかんになっている。子どもの数も50人を超えているような地域であればと思います。
- ・田舎暮らしや高橋でのキャンプが注目され、さらに移住者が増え地元の方との垣根もなく、みんなが笑顔で暮らせるよう
- ・高齢者でも安心して暮らせる（他からのサポートがある）
- ・仕事を定年退職された人の第2の居場所がたくさんあり、例えば塾に行けない子供たちの先生を無償とする、移住者のための空き家のリフォームを無償とする、コロナ対策関係の特許を発明するなどお金ではない「やりがい」「地域とのつながり」が得られる場所となっていればいいな。
- ・高橋の住民が増えて、活気のある高橋になっている。子供もふえて、にぎやかになっている。
- ・まずは豊岡で一番京阪神地域との交流人口比率（or 二拠点生活者「デュアラー」、リモートワーク、家族含む）の高い、その快適な環境（ハード、ソフト）を提供できる。米国でいうフロリダ半島（東海岸）、パームスプリングス（西海岸）
- ・荒廃農地がなく山林（里山）も整備された地域
- ・「こんなところで生活できたらいいなあ」とみんなが夢見る求める地域。不便でも健康的、他地域からでも行かせたい特色ある子育て環境、生きがいを感じる生活、他地域にない魅力がある
- ・空き家がとっても増加しているので、空き家を利用又はリフォームをして若者が定住している地域を目指す
- ・職場（小学校跡も）が増え、地区外から職場近くに移住する人も増えて、事業所と連携して活気あ

る

- 私の地区では、今は少ないですが、定年をむかえ別荘的に古民家（空き家）を利用されている方がおられてその子供・孫が遊びに来てその方達が田舎ぐらし（コロナの心配が少ない）にあこがれて移住して来てその輪が高橋全体に広がっている。
- 地区内で暮らす人々が対面だけでなく、WEB でつながり高橋出身者や高橋に関わる人もたくさん増え（WEB などでも利用して）いろいろな人が地域づくりに参加し支えあうよう
- 日本一のフットパスの地域。全国から視察がいっぱいとなっているよう
- 家族（三世代）が明るく健康で暮らせる 1 日 1 日を生きがいのある集落であってほしい
- 地域の住民が元気で地域外に発信し、都市、世界とつながり地域外との交流も盛んに行われ、自然豊かな生活環境で、笑顔で楽しく生き生きと暮らせる
- 日々の生活の中で喜びや生きがいを感じられる
- 小学校、こども園は統合したけど、子どもたちは以前のように地域とのかかわりを持ち、お父さんお母さん、若者も地域の活動に積極的に参加し、高齢者もみんな楽しんで活動をしている
- 食 卵、とうふ、米が（有名になって）おいしく食べてみんな元気
- 自動運転の自動車でお年寄りがどこにでも行けるよう
- たかはし運動会、たかはし文化祭でみんなが主役、元気いっぱいのイベントになっているよう
- 人口、世帯数は少なくなり、高橋小学校は閉校していますが、若い人からお年寄りまでみんな仲良く笑顔で暮らしています
- 高橋地区コミュニティセンターでは若い女性や子どもたちがのびのびと遊ぶよう
- 地域づくり計画作成委員会には女性が半数出席しているよう
- 各集落に空き家を活用したいつでも集えるサロンが開設されているよう

【将来像の検討にあたって寄せられた、子どもたちからの意見】

- ともだちの家が近くにあるような地域
- 近くに公園があるような地域
- 家の近くに公園があるような地域
- いろいろなものがあるといいな
- みんなが遊べるところがあるような地域
- バッティングセンターがあるような地域
- 公園のあるような地域
- ずっと自然が豊かでたくさんの生き物が住んでいるような地域
- 遊園地があるような地域
- 友達がいっぱいいて仲よく遊べるような地域
- レース場があるような地域
- 動物園があるような地域
- 誰もが安心して暮らせるような実家のような雰囲気を持つ地域
- 事故のない平和で自然豊かな毎日楽しめるような地域
- 家の近くに友達の家があるような地域
- 大きなお店がありだれでも利用できるような地域
- もっと自然が豊富な地域
- 豊かな自然を生かした産業が発展したみんなが笑顔になれる素敵な地域
- ドローンで注文が届くどこでもドアで遊びに行ける地域
- 子どもたちや若い人たちが戻ってきたくなくなるあたたかいきずなのある地域
- 未来がある子供達が多い地域
- 三世代一緒な地域
- 都市部との交流を進め地域農業等活性化したい。
- お城みたいになったらいいな
- うさぎがいっぱいたらいいな
- 歴史豊かな地域
- おもてなし上手
- 三密も気にせず地域内が密になれるように!!
- 自然を大切にしている
- 人と人との関わる場所がある地域
- グローバルな地域

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

高橋地区では、検討ワークショップのなかで、将来像の実現のために必要な取り組みとして、以下のようなアイデアが出ました。

<p>商店・買物 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの誘致：高橋に、但東に今後も夜簡単に歩けるようなコンビニはないままで。子どもにとっても夜は家族の団らん。暗い夜は今こそ大切だと思う。 ・店を増やす（居酒屋も） ・仕事を終えられたフリーの方、動ける方+来てくれる方にパン屋やカフェ、クッキーなどのお店をしてもらう。
<p>交通・ 地域の足 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・せめて土曜日にバスがあればいいと思います ・バスを増やす（交通対策） ・全但バスの復活 ・チクタクの運営 ・足がない人が気楽に利用できる交通手段があればなあ ・地域の足 スクールバス+誰でも乗れる+魅力的（地域巡り）→嵐山のトロッコ列車みたいに
<p>歴史・文化 活用対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとふるさつを知る ・毎年続けるふるさと探訪。他地区の人も参加希望。どう、案内していく？ 夜、大同窓会をする ・ふるさと探訪をした後、地域の史跡などを地図に落としとして冊子をつくる ・出身者が里帰りするふるさと探訪 ・京街道の復元 ・地域のカルタを作る ・高橋スタンプラリー（ふるさと探訪） ・天王さん農村歌舞伎舞台の活用 ・他にはないお祭り
<p>環境・エコ 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平田自然村、山の勉強会 ・立木有効活用 ・雪対策（雪下ろし作業等）（ボランティア） ・国道426号の花、飾り ・源流の整備。オオサンショウウオの保全と活用 ・マダニをなんとかしたい ・遊休地利用 ・竹林整備 ・休耕田・放棄地を活用した 土地活用（ソーラーパネル、ゴルフ場、キャンプ場）他
<p>活性化拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋の人なら自由に利用できる囲炉裏のある家（小坂「なかや」高橋版） ・誰でも気軽に集まれる場所づくり、みんながあつまれる居場所 ・囲炉裏、薪ストーブ ・古民家、旅籠 ・空き家対策 ・レンタルスペース テレワーク、期間限定でカフェ

<p>定住促進 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オシャレなスイーツカフェ（古民家を改装して作る）。オーナーを募集して永住してもらう ・若い世代の家族が永住してくれる環境づくり ・古家、空き家を活用。持ち主がOKなら、地区として移り住みたい人を案内しやすくするシステム作りをしては。アトリ工的な活用も楽しそう。 ・地域の為になるような職場を生み出す ・田舎暮らしの提案ができるような場 ・農業体験（田んぼ、畑）（山や川の管理） ※次世代育成（農業って楽しい いい仕事と思える内容） ・移住のすすめ（よびこみ） ※ちょっと本気でやってみる
<p>医療・福祉 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者体力づくり、住民の健康意識、寝たきり0（ゼロ）運動 ・悩みごと解決バスター ・大学病院の誘致
<p>教育・子ども 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具がいっぱいの大きな公園（雨天でも遊べる） ・子ども園の統合。0歳児5人以下くらいになると、集団での学びの良さを保つために、例えば合橋との統合も検討すべき。保護者の意見も参考に地区として動く ・大学（サテライト）、研究所の誘致 ・子どもの遊び場（親も来る）、ソリ場（プラスチック場）冬場 ・子どもが帰りたくなる高橋、子どもが地域に残る教育 ・図書取り寄せ ・近所で習い事 おじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらう ・子どもたちが気軽に物づくりが体験できる活動があればいいなあ（自然を使って） ・スポーツや勉強などを定期的に教えてもらえる教室のようなもの ・子どもたちの得意なことを練習して発表できるようなこと ・親子料理教室 一緒に作る ・高橋「今」「昔」ばなし ※異世代間交流（ユーモアのある話） ・子どもを集めて川遊び

<p>観光・交流 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋の自慢できる場所を観光地にする（東中の花海道、平田子ども自然村など） ・トイレ美化、おもてなしG-men、気持ちよく ・材料持ちより料理教室。試食しながら輪を広げる ・太極拳の後でみんなが寄っている時に話し合い。これからの老後に元気でいられるようにラジオ体操の日もあったらと思います。 ・きれいな水の流れる溪谷を利用して、ニジマスやヤマメ釣り場をつくる ・老人会が寄る行事を考えてほしい。楽しい生活がしたい ・高齢者の卓球教室。月1回でもしてほしい。輪を広げられる ・からだ塾の体操を出合まで行くが、できれば高橋公民館でしてほしい ・農道などの休憩イス（ベンチ）、久畑パーキングの公園化 ・校区芸能発表会、文化祭開催、ふるさと大同窓会、高橋地区の合同大秋まつり、出身者が里帰りする運動会、高橋まつりで盛り上がる、ふるさとのど自慢 ・各家庭、隣保で、地区外に生活している人を呼び込む活動、イベントを実施 ・顔見知り運動 ・ふれあい喫茶 ・超大ブランコ、アスレチック、ドッグランパーク ・各集落のカカシコンテスト、ペットコンテスト、婚活イベント ・田んぼアートの取組み ・平田地区にあるキャンプ場の活性化 ・京都方面（京阪神）観光客の集客（旬の里利用）。但東の東で最後のみやげ店 ・ちょっと来て、泊まって田舎体験 コンドミニウム？コテージ？ ・自然の中で走り回れるゆっくりできる場（自然村、但熊周辺、東中、京街道）山!! ・田んぼでヨガ ・みんなで鬼ごっこ、かくれんぼ ・いろいろなスポーツが体験できる場があったらいいな ・田んぼがたくさんあるのでどろんこ遊びができる場所があったらいいな ・但東、高橋の食・住を感じられる小さなホテルのようなこと（地元の食材を使って料理をふるまう） ・みんなでおさんぽ 年齢制限なし！ ・多文化ふれあい活動 地区在住のベトナムなどのひとを活かす ・上流からの川下り（散歩でも） ・鹿ナイトツアー名所 ・マラソン大会 ・但熊テーマパークを高橋住民で充実、盛り上げる。里山をもっとPR ・フットパスの開催 ・どこかの敷地を借りた大規模かくれんぼ ハンター ・同世代で飲み会
---------------------	--

<p>特産品・ビジネス対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンソーアート ・木を使ったソリづくり ・地域の目玉（特産物、農産物）、米のブランド、自然薯づくり、放棄田を活用した高橋の特産品開発、高橋のPB作り（農産物・加工品） ・地元の特産品のインターネット販売 ・市のマスコットオオサンショウウオ「オーちゃん」の利用。シール等商品 ・地域の手づくり品を自由に販売できる直売所 ・山菜、よもぎつみ、里山のキノコ、野草 ・ピザ釜でピザパーティー♪ ・酒米づくり ・お茶作り ・ジビエ試食会 ・企業誘致（サテライトオフィスなど・・・） ・株式会社高橋 ・高橋ブランドのお米・水の販売と活かした飲食店 ・電気自動車のまち ・いこいの杜（巻き寿し ちらし寿し）販売 ・炭焼き
<p>農業対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物をつくる喜びがほしい。 ・鹿、猪の駆除を、オリの年間開放、獣害の撲滅 ・農業の後継者をつくる ・営農生産組合 ・休耕田利用 ・高齢者を生かす
<p>情報受発信対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力を発信。不便。自給自足。温かい近所のつながり。自然。夜は暗いもの。晴耕雨読。インターネットの普及で都会とのつながりも。子どもがのびのび外で遊ぶ…。良し悪しあるが、ここが好きで引っ越してきた人もいる。そういう人のエピソード、高橋の素敵などをパンフレットやポスター、ホームページ（田舎ぐらし）でもっとアピールできそう。都会の児童館や大学、公民館に置けば目を止める人もいる。特に子育て世代、まもなく定年等の人。効率化で忘れがちなことを取り戻せる場所だとも思う。 ・登尾トンネルに便乗（1,777m）777。パワースポット ・高橋の位置表現PR。“但東の東、兵庫の鼻”等の地域ブランディング ・高橋の付く名を増やす（小学校しかない）。高橋看板を作成 ・全ての世帯 Web 化
<p>自立・自律したまちづくり対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「振対協」ではとっつきにくいので、サブネームを考える（振対協のネーミング） ・座談会の定期開催 ・役員中心ではなく、話し合う場をもっと作ってほしい。 ・振対協に若い人の女性会が作りたい（Café する・・・） ・集落合併 ・行事 会合の精選

第5章 新たな取り組みに向けた課題への対処

高橋振興対策協議会では、これまでも取り組み内容や、地域の実情に応じて、実施体制の見直し、刷新を行い、柔軟に取り組んできました。

本計画に基づき、次代に相応しい取り組みを進めるために、令和3年度から次に掲げる事項についても並行して取り組むものとします。

【計画の実施と並行して取り組む新たな課題】

- 高橋振興対策協議会の組織構成の見直し、体制の刷新
- 高橋振興対策協議会（コミュニティ組織）と行政区との関係性の再整理
- 主たる構成員、メンバーの確保（若手男性や女性、外国人等の積極的な登用）

グローバル社会に相応しい高橋振興対策協議会とするために、早急に検討を進め、持続可能な組織、取り組みに繋げることとします。

